

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 施工は必ず専門の工事業者の方が行なってください。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



- 取付けを誤った場合に、使用者などが中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



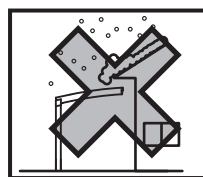
- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。



- 製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

<施工の前に>

- ・当製品は簡易型駐輪場です。物置・遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的として、みだりに改造・変更をしないでください。
- ・積雪（新雪）20cmを超えない地域に設置してください。
- ・建物の屋根から雪の落雪を直接受けない位置に設置してください。
- ・強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上等の施工は避けてください。
- ・施工場所に寸法的に正しく納まるかどうか確認してください。
- ・給湯器や暖房機等の熱排気が製品に当たらないように施工してください。
排気による塗装劣化・剥離（はくり）のおそれがあります。
- ・給湯器や暖房機等の熱排気が製品内にこもるような場所に施工しないでください。排気による中毒のおそれがあります。
- ・傾斜地に設置する場合は、低い場所の埋込み深さを確保してください。



<基礎工事について>

- ・基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めています。現場によって（軟弱な地盤等）基礎部のコンクリートの量（体積）を十分配慮してください。
- ・寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- ・モルタルやコンクリートには、塩分を含む砂（海砂）および塩素系強アルカリのコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤等）は使用しないでください。使用するとアルミ等の金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- ・柱内の水抜きができるよう、基礎には必ずぐり石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き孔（φ6）をあけてください。
柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
- ・モルタルやコンクリート等が製品の表面に付着した場合は、速やかに拭取ってください。シミやムラ等の外観不良の原因になります。

 注意

＜施工の際に＞

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 「使用上の注意」ラベルを貼っている柱に豎樋を取付けると、表示が見えなくなります。豎樋を取付けない側に表示ラベルを向けてください。
- ボルト、ネジは弊社指定品を指定本数使用し、ゆるまないように締付け固定してください。
- アルミ製品が垂鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造や、指定箇所以外の孔加工はしないでください。
- 製品についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は、補修塗料で補修してください。
- 水濡れのおそれがありますので、指定の箇所にシーリングをしてください。
- シリコンシーリング材を使用する場合は、ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがありますので、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業（株）	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン（合）	トスシール380
東レ・ダウコーニング（株）	SE960

＜施工の後に＞

- ☐ボルト、ネジを増し締めしてください。
- ☐取扱説明書は施主様にお渡しください。

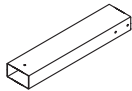
INDEX

■ 1	梱包明細表	4
■ 2	基本寸法と各部名称	8
1.	各部名称	8
2.	基本寸法	9
■ 3	基本の施工方法	11
1.	基礎の施工	11
2.	基礎寸法	11
3.	柱と梁の取付け	12
4.	前枠・母屋・後枠の取付け	12
5.	側枠・アーチの取付け	14
6.	屋根パネルの取付け	15
7.	コーナー柱の取付け	17
■ 4	波板サイドパネルの施工方法	18
1.	各部名称	18
2.	サイドパネル（背面）の取付け	19
3.	サイドパネル（側面）の組立て	19
4.	サイドパネル（側面）の取付け	20
5.	波板の取付け	20
■ 5	サイドパネルの施工方法	21
1.	各部名称	21
2.	補助柱の組立て	21
3.	後枠カバー・上棧の組立て	22
4.	中棧・下棧・パネル・方立・端部方立の組立て	23
5.	柱・補助柱の組立て	24
6.	コーナー金物・固定金物の組立て	25
7.	側面パネルの組立て	26
■ 6	連棟の場合の施工方法	27
1.	基礎の施工	27
2.	本体の連結	28
3.	波板サイドパネル連棟時の組立て	29
4.	サイドパネル連棟時の組立て	30
■ 7	縦樋の取付け	31
1.	縦樋の取付け	31

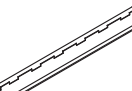
1 梱包明細表

※施工の前に梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

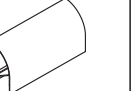
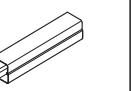
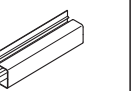
【1】柱セット

名 称	略 図	員 数	
		1本入	2本入
標準柱		1	2
取扱説明書	—	—	1

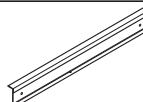
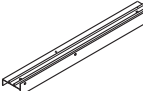
【2】長さセット

名 称	略 図	員 数	
		22用	29用
前枠		1	1
後枠		1	1
母屋		2	2

【3】横棧セット

名 称	略 図	員 数	
		22・29用	側面用
後枠カバー		1	—
上下棧		2	2
中棧		1	1

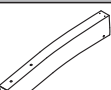
【4】縦枠セット（波板）

名 称	略 図	員 数	
		22・29用	側面用
縦枠		2	1
縦枠B		—	1

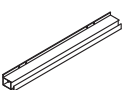
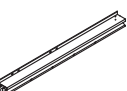
【5】コーナー柱セット

名 称	略 図	員 数
コーナー柱		1

【6】梁セット

名 称	略 図	員 数	
		1本入	2本入
梁		1	2

【7】横棧セット（波板）

名 称	略 図	員 数	
		H12	H15
サイドパネル上枠		1	1
サイドパネル下枠		1	1
サイドパネル中棧		1	2

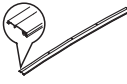
【8】補助柱セット

名 称	略 図	員 数	
		1本入	3本入
補助柱		1	3

【9】方立セット

名 称	略 図	員 数				
		基本22用	基本29用	側面用	連棟22用	連棟29用
方立		2	3	1	3	4
端部方立		2	2	2	—	—

【10】 幅セット

名 称	略 図	員 数			
		基本 22用	基本 29用	連棟 22用	連棟 29用
側枠右		1	1	—	—
側枠左		1	1	—	—
側枠カバー		2	2	—	—

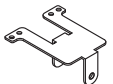
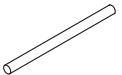
【11】_1 サイドパネル部品セット

名 称	略 図	員 数		
		22用	29用	連棟用
コーナーブロック (L/R)		各2	各2	—
中棧ブロック		2	2	—
後枠カバー キャップ (L/R)		各1	各1	—
後枠カバーキャップ パッキン		2	2	—
後枠上棧取付け金具		2	2	1
上下棧取付け金具		4	4	2
連棟用ジョイント裏板		—	—	3
サイドパネル 連結金物 上下棧用		—	—	2
サイドパネル 連結金物 中棧用		—	—	1
【11-1】 M8×12六角ボルト		6	6	3
【11-2】 M8用平座金		6	6	3
【11-3】 M8用バネ座金		6	6	3
【11-4】 M8用袋ナット		6	6	3
【11-9】 φ4×10ワッシャーヘッドネジ (D=10)		8	35	14
【11-10】 φ4×13ナベドリルネジ		30	35	11
【11-12】 φ4×16トラスネジ		2	2	1
【11-13】 M6×10トラス小ネジ		—	—	6
【11-14】 M6用特平座金		—	—	6
【11-15】 M6用バネ座金		—	—	6
取付説明書	—	—	1	—

【10】 幅セット (つづき)

名 称	略 図	員 数			
		基本 22用	基本 29用	連棟 22用	連棟 29用
アーチ		2	3	3	4
アーチカバー		2	3	3	4

【11】_2 側面部品セット

名 称	略 図	員 数
コーナーブロック (L/R)		各2
中棧ブロック		2
サイドパネル コーナー金物		3
コーナー柱サイド パネル固定金物		3
コーナー柱自在 金物 パネル用		1
コーナー柱キャップ		1
φ7×120アンカー棒		1
【11-1】 M8×12六角ボルト		9
【11-2】 M8用平座金		9
【11-3】 M8用バネ座金		9
【11-4】 M8用袋ナット		9
【11-5】 M6×70六角ボルト		1
【11-6】 M6用平座金		2
【11-7】 M6用バネ座金		1
【11-8】 M6用袋ナット		1
【11-9】 φ4×10ワッシャーヘッドネジ (D=10)		4
【11-10】 φ4×13ナベドリルネジ		20
【11-11】 φ4×13ナベドリルネジ3種		4

【12】組立て部品セット

名 称	略 図	員 数
前枠コーナーキャップ (L/R)		各1
後枠コーナーキャップ (L/R)		各1
梁キャップミニ用		2
ブラケットカバーミニ用 (L/R)		各2
雨樋アタッチメント		1
雨樋孔ふさぎキャップ		1
アタッチメントパッキン		2
ドレンエルボφ40用		1
92° エルボ		2

【12】組立て部品セット (つづき)

名 称	略 図	員 数
でんでん		3
接着剤		1
φ8×200アンカー棒		2
プチルシーリング材 (50g)		1
孔ふさぎシール (φ10)		20
パネル緩衝材		8
【12-1】 M8×20六角ボルト (平座金・緩み止め付)		14
【12-2】 φ5×55サラ タッピンネジ		2
【12-3】 φ5×14 トラスネジ		4
【12-4】 φ4×10ワッシャー ヘッドネジ		72
【12-5】 φ4×13 ナベドリルネジ		25
取付説明書	—	1

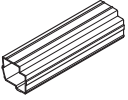
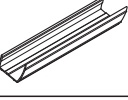
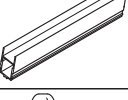
【13】サイドパネル部品セット (波板)

名 称	略 図	員 数			
		基本用	側面用	連棟用 H12	連棟用 H15
波板フック (No.27)		34	22	17	34
コーナー柱自在金物 波板用		—	1	—	—
上栈固定金具		2	—	1	1
下栈固定金具		—	1	—	—
セーフティーキャップ		4	—	—	—
コーナー柱キャップ		—	1	—	—
孔ふさぎシール φ10		12	—	12	12
φ7×120アンカー棒		—	1	—	—

【13】サイドパネル部品セット (波板) (つづき)

名 称	略 図	員 数			
		基本用	側面用	連棟用 H12	連棟用 H15
サイドパネル 上下枠スリーブ		—	—	2	2
中栈スリーブ		—	—	1	2
【13-1】 M6×10六角ボルト		2	—	1	1
【13-2】 M6×70六角ボルト		—	1	—	—
【13-3】 M6用平座金		2	2	1	1
【13-4】 M6用バネ座金		2	1	1	1
【13-5】 M6用袋ナット		2	1	1	1
【13-6】 φ4×10ワッシャー ヘッドネジ		4	4	—	—
【13-7】 φ4×20 トラスネジ		4	4	—	—
【13-8】 φ4×19ナベ ドリルネジ		—	6	—	—
【13-9】 φ4×13ナベ ドリルネジ		24	4	30	40
【13-10】 φ4×13ナベ ドリルネジ3種		—	4	—	—

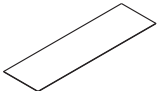
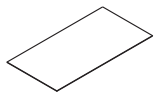
【14】連棟部材セット

名 称	略 図	員 数
		18~21用
前枠スリーブ		1
後枠スリーブ		1
母屋スリーブ		3
【14-1】φ4×13ナベネジ		46

【17】サイドパネル補助柱部品セット

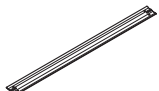
名 称	略 図	員 数
後枠補助柱取付け金具		1
上下桟取付け金具		3
上下桟補助柱取付け金具裏板		4

【18】パネルセット

名 称	略 図	員 数		
		1枚入	3枚入	4枚入
屋根パネル		1	3	4
サイドパネル		1	3	4

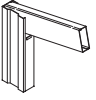
【19】屋根材ホルダーセット ※

オプション

名 称	略 図	員 数	
		3本入り	4本入り
屋根材ホルダー		3	4
屋根材ホルダースペースャー		11	11
【19-1】φ5×13ドリルネジ		10	10
取付説明書	—	1	1

※Fタイプの間口21型は標準設定です。

【15】ブラケットセット

名 称	略 図	員 数	
		1本入	2本入
ブラケット		1	2

【16】縦樋セット

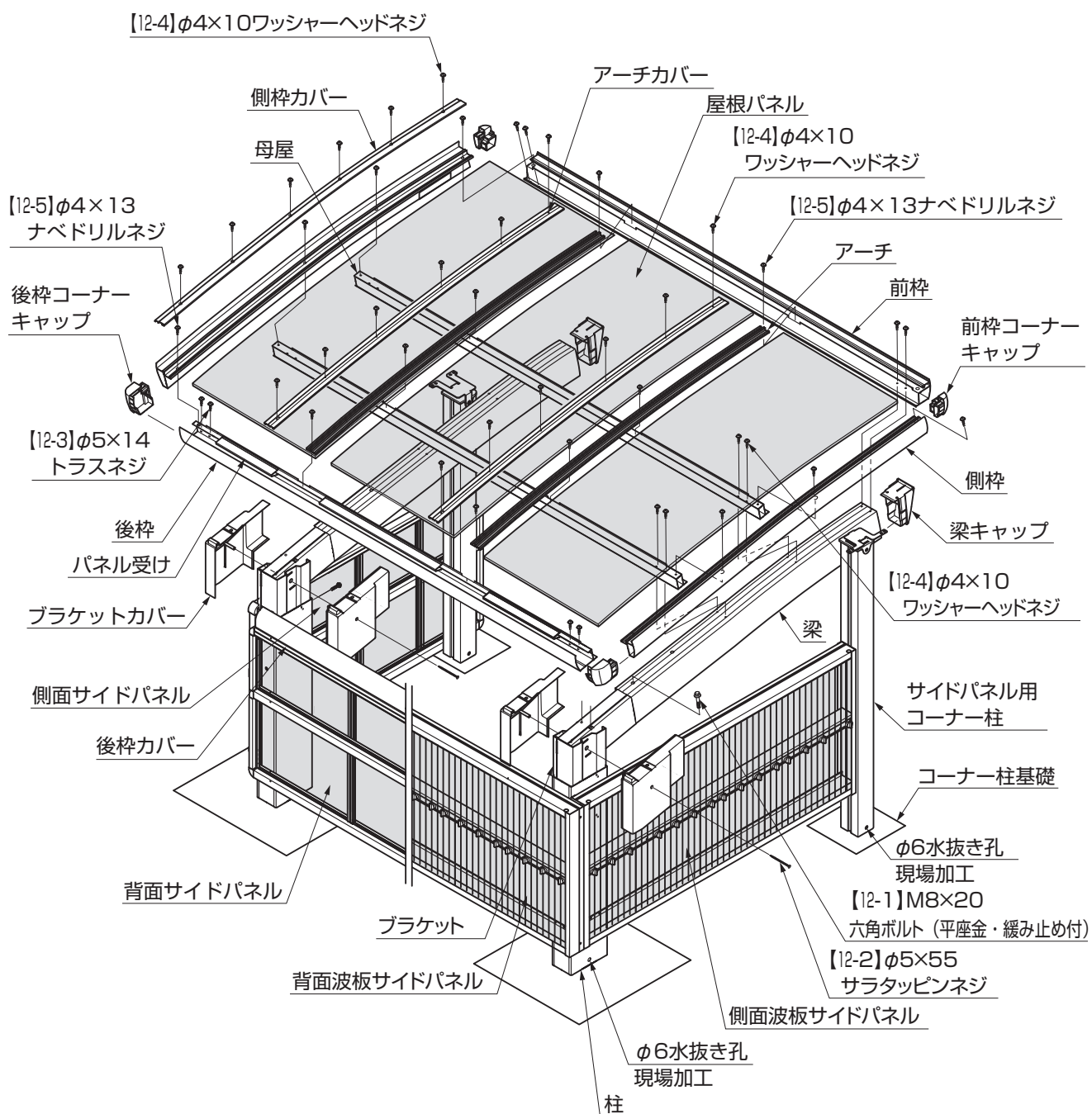
名 称	略 図	員 数
		1本入
縦樋		1

【17】サイドパネル補助柱部品セット (つづき)

名 称	略 図	員 数
【17-1】M8×12六角ボルト		3
【17-2】M8用平座金		3
【17-3】M8用パネ座金		3
【17-4】M8用袋ナット		3
【17-5】M4×8トラス小ネジ		9

2 基本寸法と各部名称

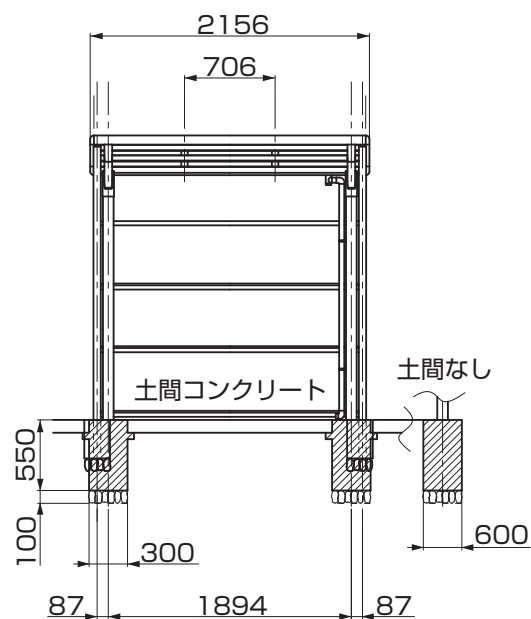
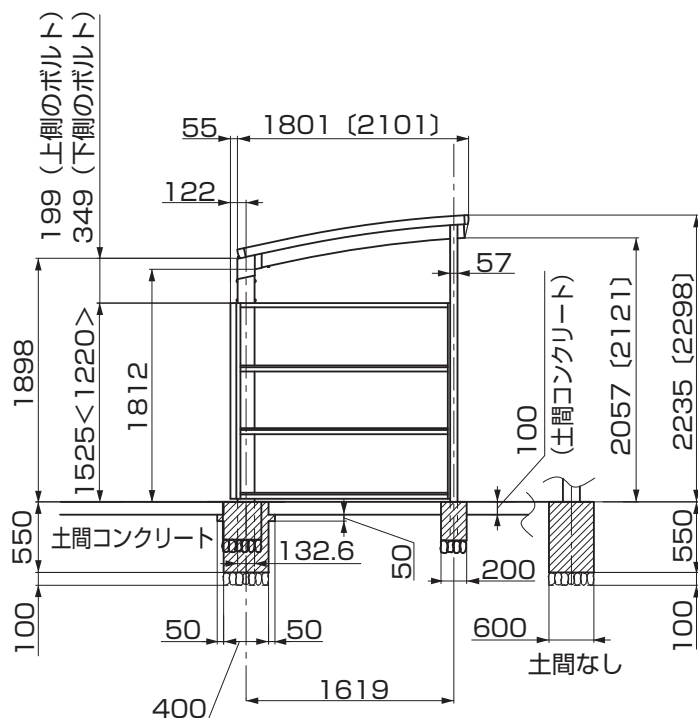
1. 各部名称



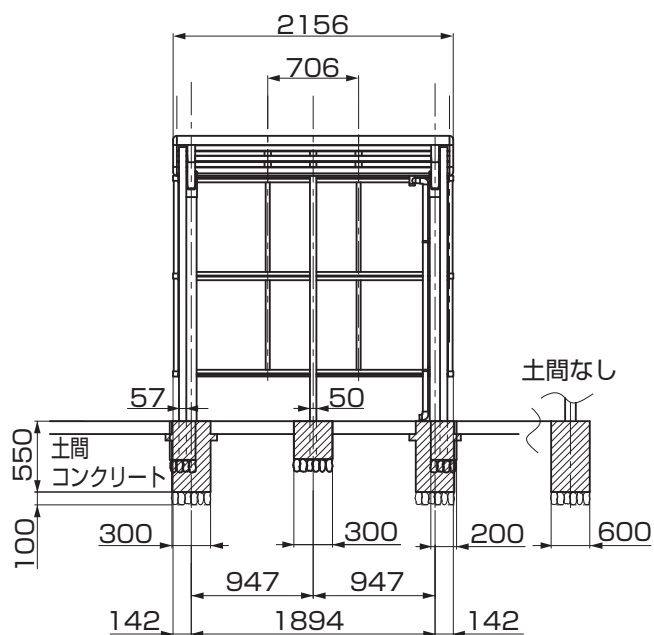
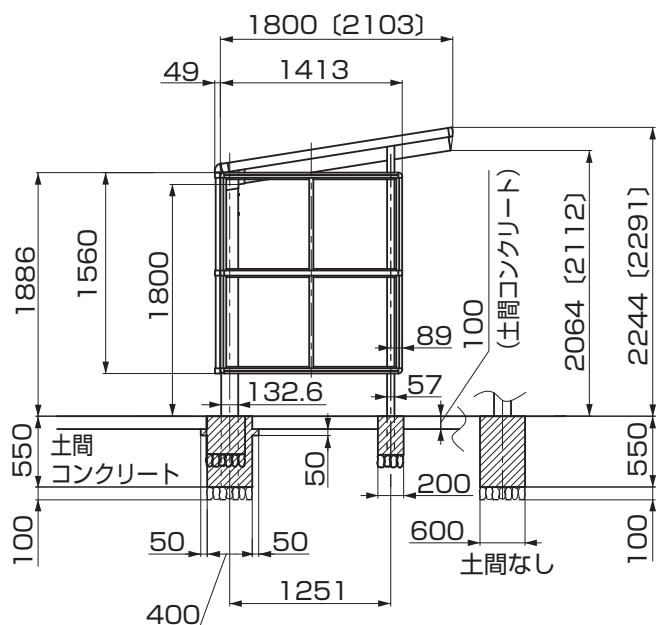
2. 基本寸法 ※〔 〕内は21型を示します。〈 〉内はH12サイズのパネルを示します。

2-1 基本タイプ

(1) 波板タイプ ※図はRタイプを示します。



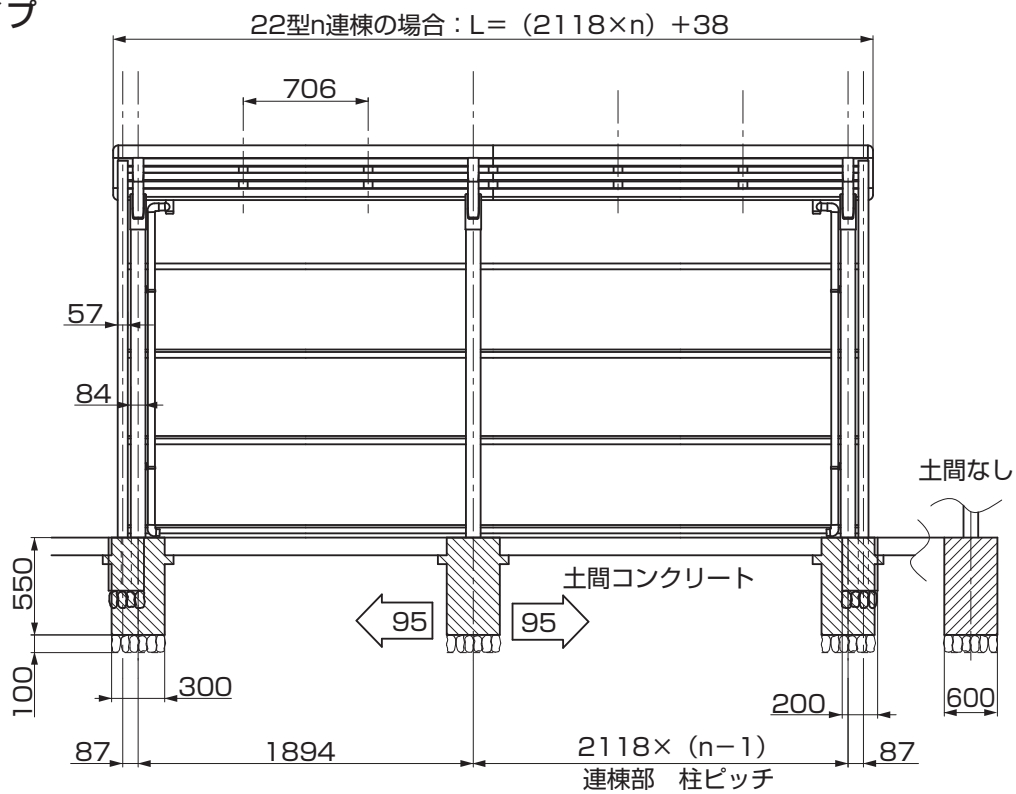
(2) パネルタイプ ※図はFタイプを示します。



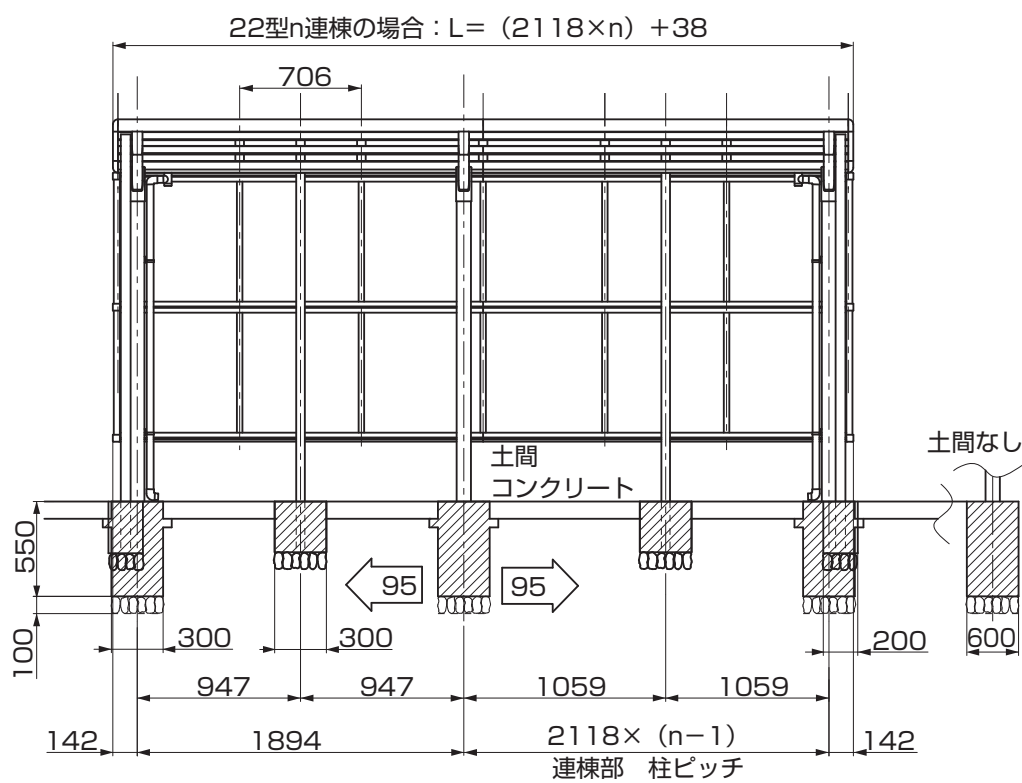
2. (つづき)

2-2 縦連棟

(1) 波板タイプ



(2) パネルタイプ



3 基本の施工方法

1. 基礎の施工

1-1 基礎位置の墨出し

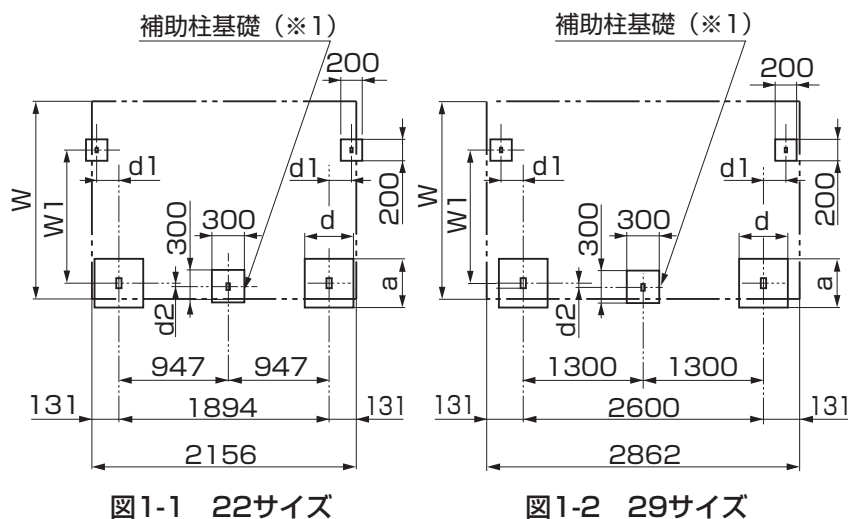


表1-1 墨出し位置

サイズ 呼称		W	波板 タイプ		パネル タイプ		
			W1	d1	W1	d1	d2
R	18	1801	1619	87	1251	67	31
	21	2101	1619	87	1251	67	31
F	18	1800	1619	87	1251	67	31
	21	2103	1619	87	1251	67	31

表1-2 基礎孔寸法表

サイズ 呼称	a		d	
	土間 なし	土間 コンクリート	土間 なし	土間 コンクリート
18・21	600	400	600	300

①柱埋込み位置を出して基礎孔を掘ってください。

ポイント

- 図の二点鎖線は屋根の投影図を示します。
- 柱の移動はできません。(雨樋アタッチメントに干渉します。)
- 補助柱基礎はパネルタイプの場合のみです。(※1)
- コーナー柱、サイドパネル補助柱の基礎固めは必ず最後に行なってください。

2. 基礎寸法 ※補助柱・コーナー柱の基礎は、土間コンクリート仕様がありません。

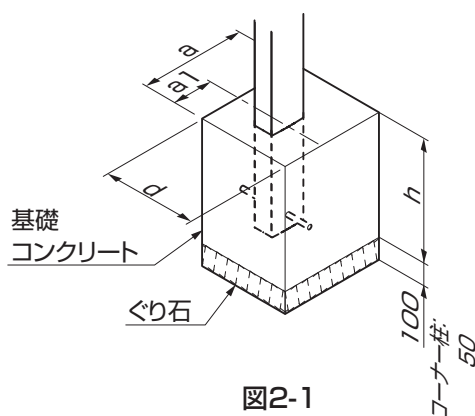


図2-1

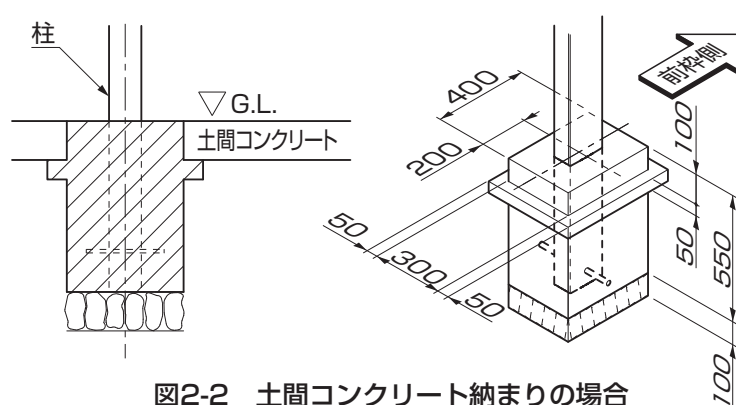


図2-2 土間コンクリート納まりの場合

表2-1 基礎寸法表

サイズ	土間なし			
	d	a	a1	h
18・21・連棟柱	600	600	300	550
補助柱	300	300	150	302
コーナー柱	200	200	100	表2-2参照

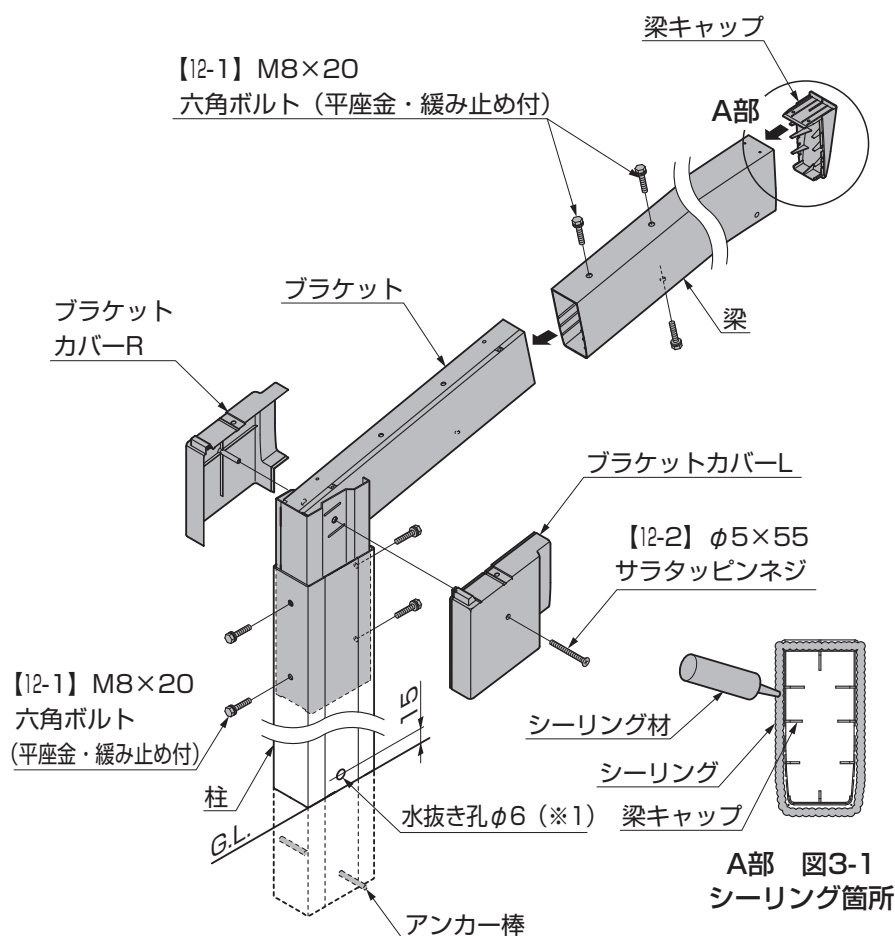
単位mm

表2-2 コーナー柱h寸法表

サイズ	波板		パネル
	波板	パネル	
R	18	341	370
	21	300	342
F 18・21	342	396	

単位mm

3. 柱と梁の取付け



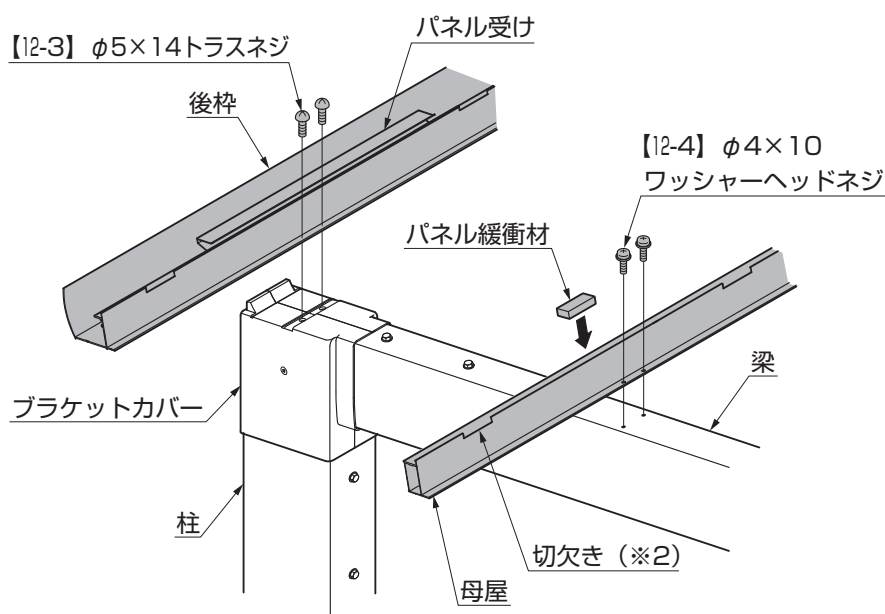
- ① 柱にアンカー棒を差込んでください。
- ② 柱にブラケットを【12-1】で取付けてください。
- ③ 梁をブラケットに【12-1】で取付けてください。
- ④ ブラケットカバーR、ブラケットカバーLを【12-2】で取付けてください。
- ⑤ 梁キャップにシーリング材を充てんして、梁に取付けてください。
(図3-1参照)

⚠ 注意

- 「使用上の注意」ラベルを貼っている柱に竖樋を取付けると、表示が見えなくなります。竖樋を取付けない側に表示ラベルを向けてください。
- 柱のG.L.付近(地上側)にφ6水抜き孔をあけてください。(※1)

A部 図3-1
シーリング箇所

4. 前枠・母屋・後枠の取付け



- ① 後枠をブラケットカバーに【12-3】で取付けてください。(図4-1参照)

🔑 ポイント

- パネル受けを後枠の切欠きと切欠きの間に均等になるように移動させてください。
- ② パネル緩衝材を母屋の切欠きと切欠き(※2)の間に貼付けてください。

図4-1

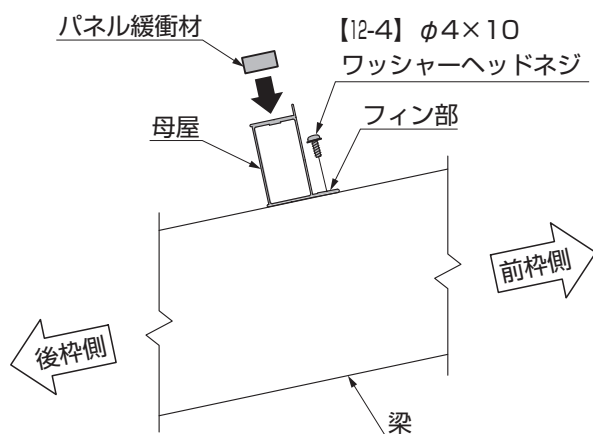


図4-2

③前枠側にフィン部を向けて、母屋を梁に【12-4】で取付けてください。
(図4-1、図4-2参照)

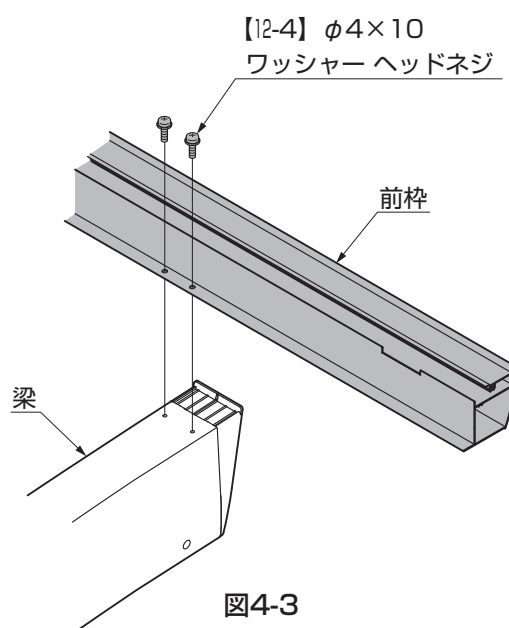


図4-3

④前枠を梁に【12-4】で取付けてください。(図4-3参照)

5. 側枠・アーチの取付け

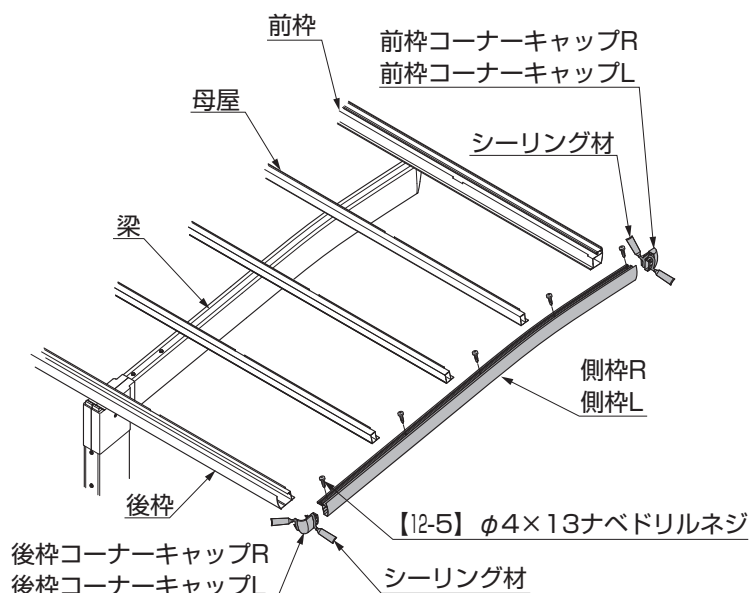


図5-1

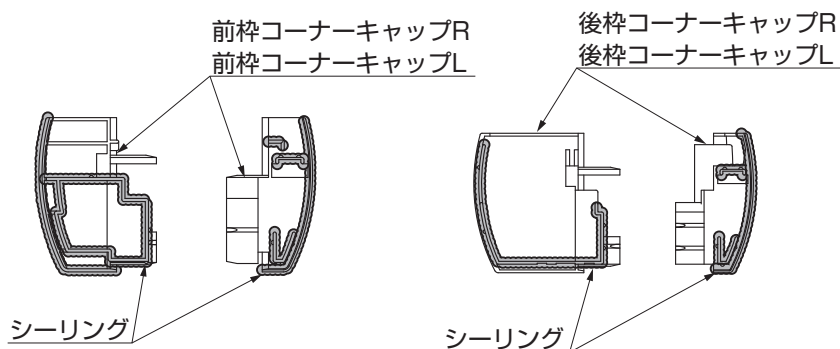


図5-2

【12-5】φ4×13
ナベドリルネジ

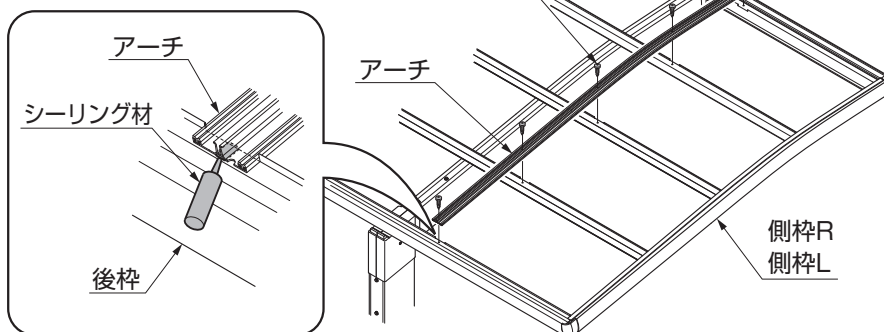


図5-3

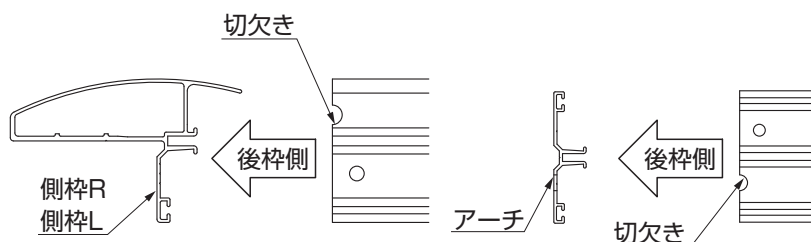


図5-4

- ①前枠コーナーキャップR・前枠コーナーキャップLおよび後枠コーナーキャップR・後枠コーナーキャップLにシーリング材を充てんして、側枠R・側枠Lに取付けてください。

(図5-1、図5-2参照)

ポイント

- 側枠R・側枠Lには左右があります。切欠きが入っている方を後枠側にしてください。(図5-4参照)

- ②前枠・後枠・母屋に側枠R・側枠Lの孔を合わせて、【12-5】で取付けてください。

- ③アーチの前後を確認して、前枠・後枠・母屋にアーチの孔を合わせて、【12-5】で取付けてください。

(図5-3、図5-4参照)

ポイント

- アーチを後枠に取付ける前に、アーチと後枠のすき間にシーリング材を充てんしてください。

(図5-3参照)

- ④屋根枠まわりの対角・水平および柱の垂直を出してください。

補足

- 前枠・後枠、母屋には加工孔はありません。

6. 屋根パネルの取付け

6-1 屋根パネルの取付け

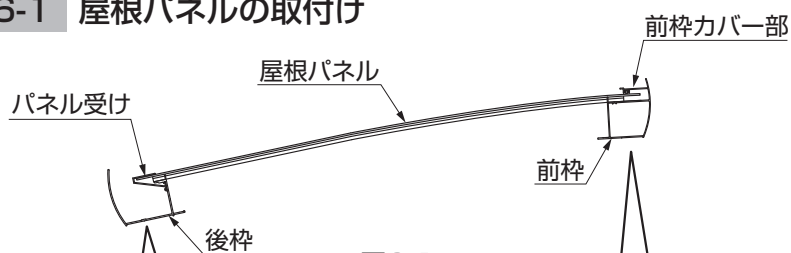


図6-1

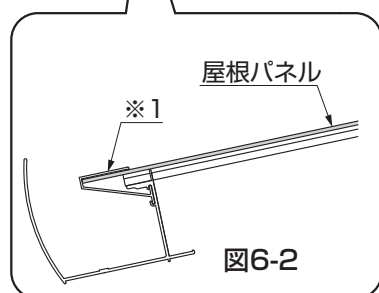


図6-2

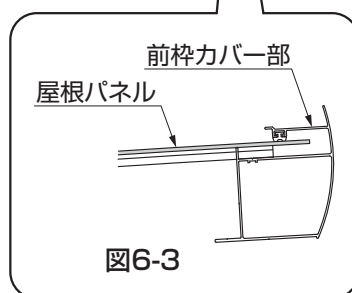


図6-3

- ①屋根パネルを前枠のカバー部に差込み、パネル受けに差込んでください。

ポイント

- 屋根パネルは後枠側に突き当ててください。（※1）
- アーチ部ののみ込み寸法は、左右均等にしてください。
- 屋根パネルは必ず裏表を確認し、保護シートをはがしてから取付けてください。

6-2 側枠カバー・アーチカバーの取付け

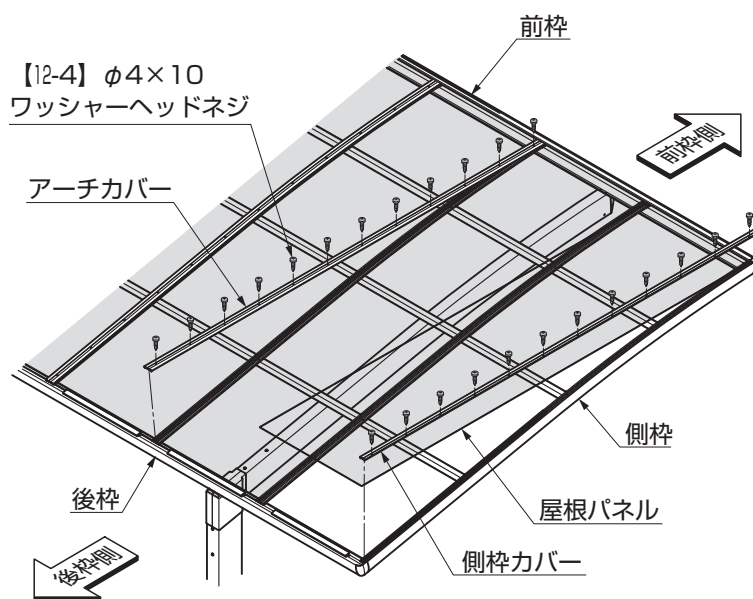


図6-4

- ①アーチカバー・側枠カバーを前枠に突き当てて、前枠側からアーチに【I2-4】で取付けてください。（図6-4参照）

ポイント

- アーチとアーチカバーがかみ合っていることを確認してください。

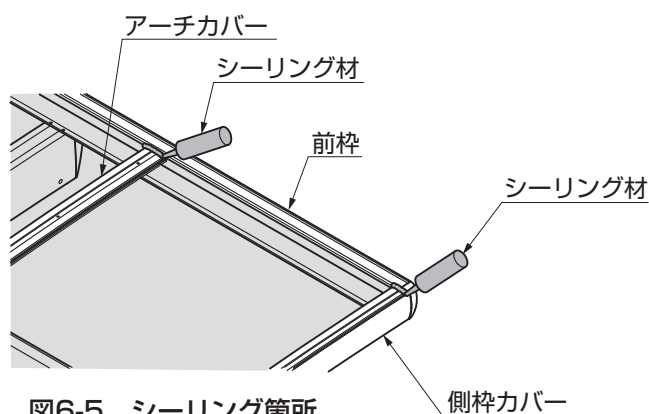


図6-5 シーリング箇所

- ②前枠とアーチカバーの間と前枠と側枠カバーの間にシーリング材を充てんしてください。（図6-5参照）

6. (つづき)

6-3 屋根材ホルダーの取付け **オプション** ※Fタイプの間口21型は標準設定です。

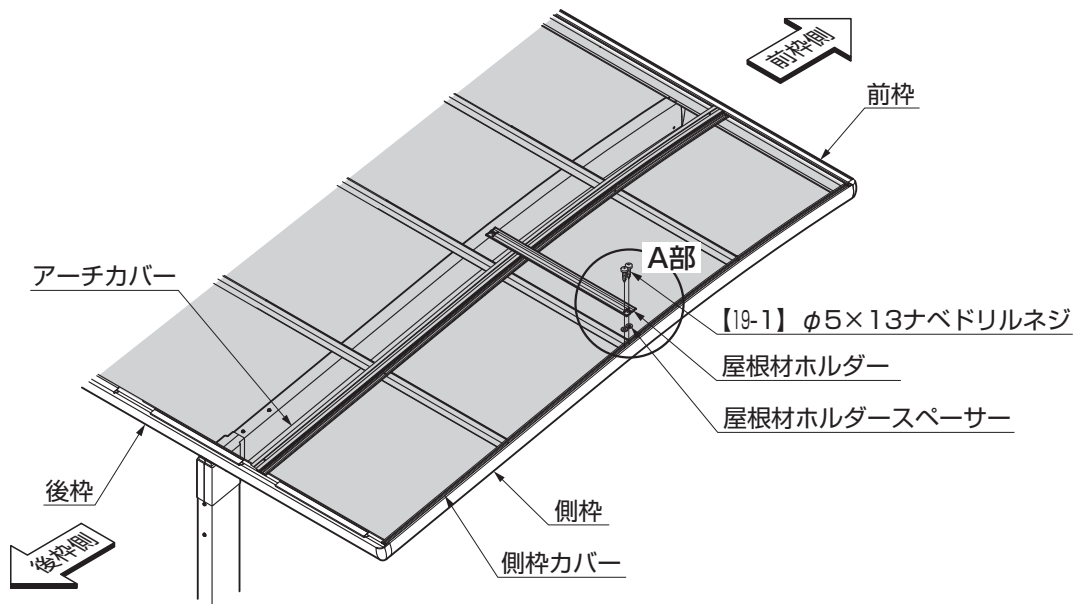


図6-6

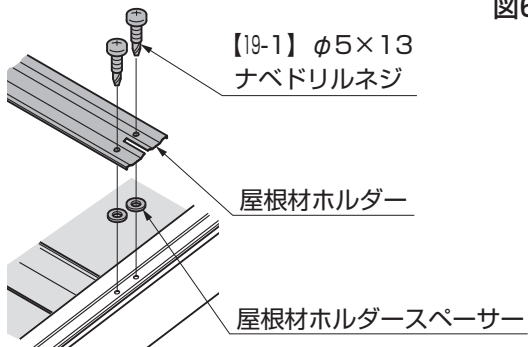


図6-7 A部詳細図

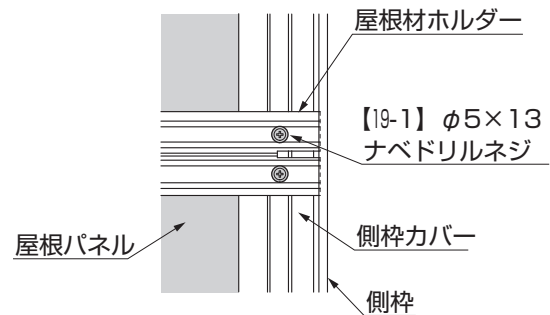


図6-9

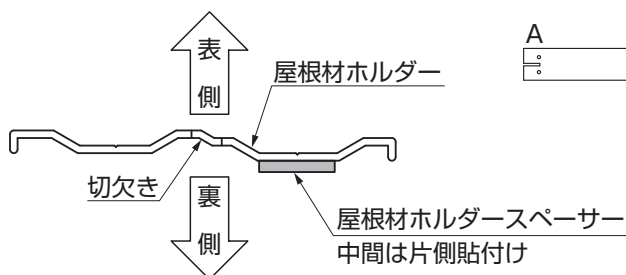


図6-8 屋根材ホルダー断面図

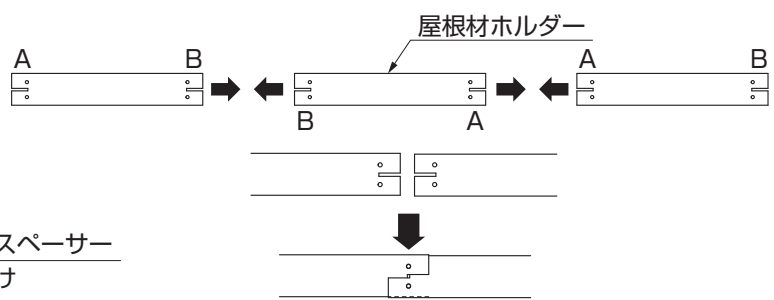


図6-10

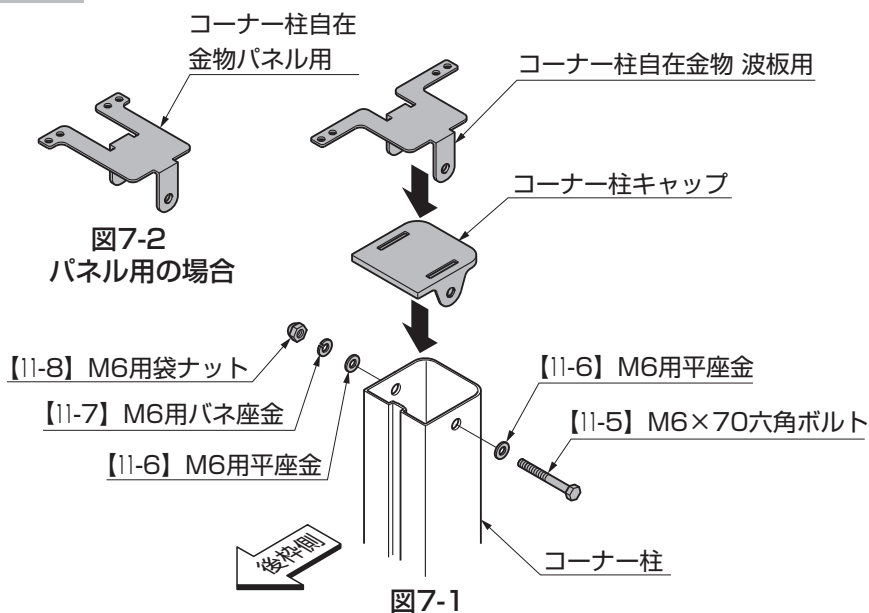
- ①屋根材ホルダーを後枠側から数えて1本目の母屋の真上の位置に【19-1】で取付けてください。（図6-6参照）
- ②サポートと併用する場合は、前枠と後枠から数えてそれぞれ1本目の母屋の真上の位置に取付けてください。

ポイント

- 側枠カバー側のネジだけを固定して、反対側は次の屋根パネルとアーチカバーを取付けた後で固定してください。（図6-9参照）
- 2本目以後の取付けは、1本目の屋根材ホルダーと反対向きにして、切込み部分をかみ合わせるように取付けてください。（図6-10参照）
- 取付け前に屋根材ホルダー下面に屋根材ホルダースペーサーを貼付けてください。（端部:図6-7、中間:図6-8参照）

7. コーナー柱の取付け

7-1 自在金物、柱キャップの取付け



- ①コーナー柱にコーナー柱キャップ、コーナー柱自在金物を【11-5】、【11-6】、【11-7】、【11-8】で取付けてください。(図7-1参照)

ポイント

- コーナー柱自在金物には波板用とパネル用があります。(図7-1、図7-2参照)

- ②コーナー柱にアンカー棒を取付け、コーナー柱を建込んでください。

ポイント

- 柱のG.L.付近（地上側）にφ6水抜き孔をあけてください。

7-2 コーナー柱の取付け ※パネルタイプの場合の作業です。

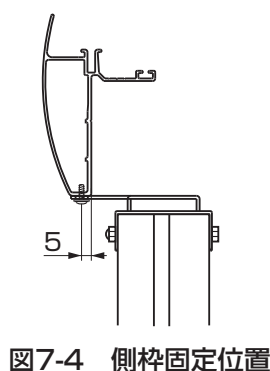
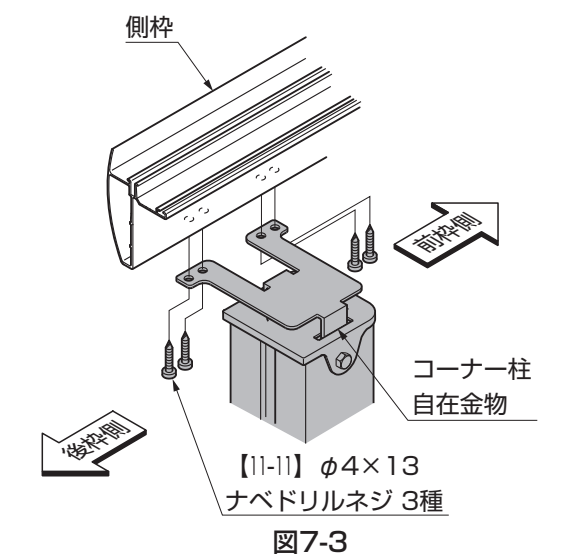


図7-4 側枠固定位置

- ①コーナー柱の垂直を出し、コーナー柱自在金物を側枠に【11-11】で取付けてください。(図7-3、図7-4、図7-5参照)

ポイント

- 波板タイプの取付けは「4 波板サイドパネルの施工方法 4. サイドパネル（側面）の取付け」を参照してください。

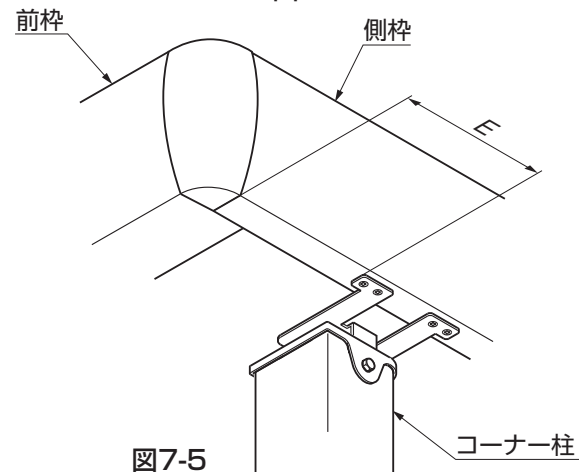


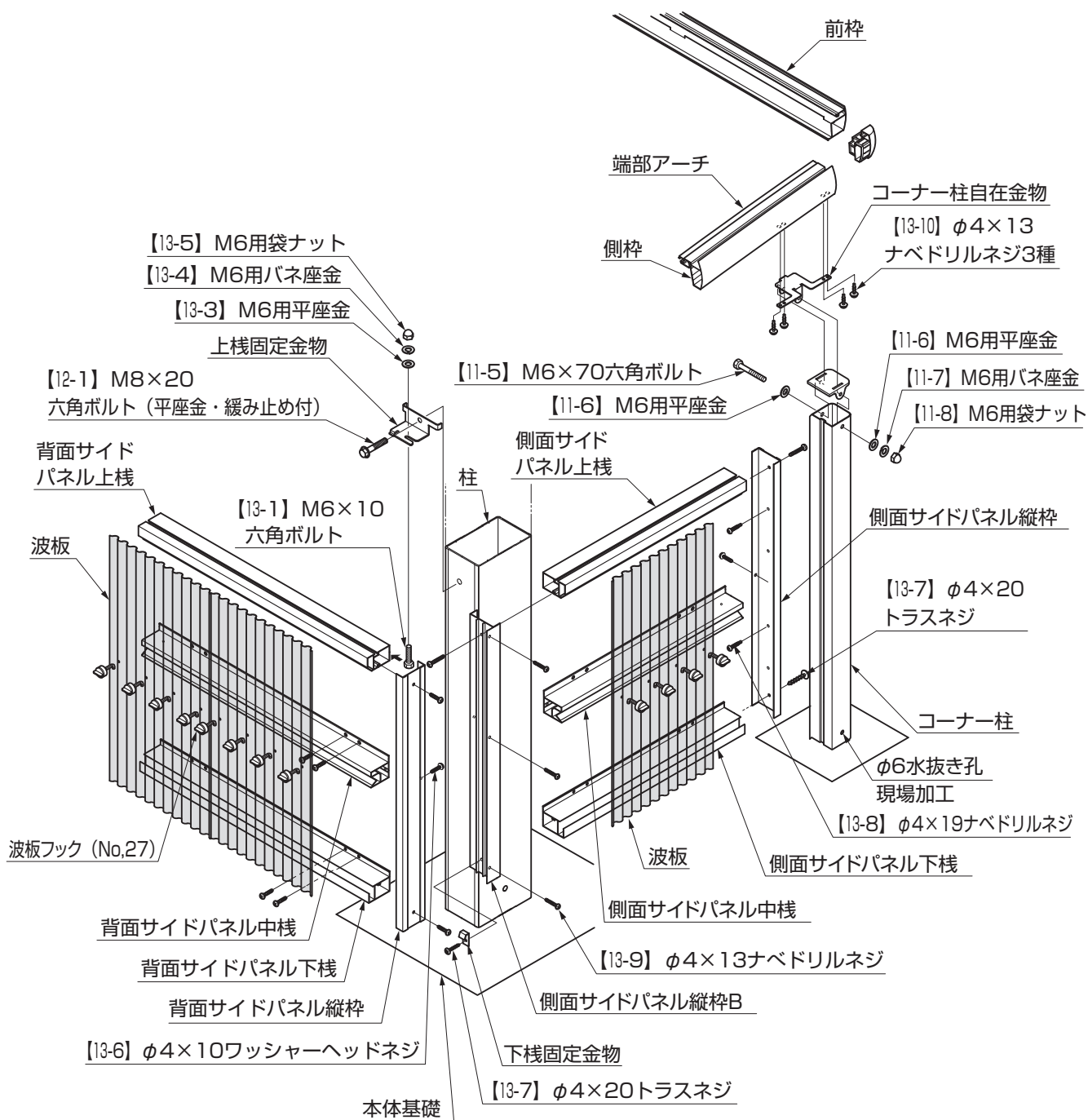
図7-5

表7-1 E寸法表 単位mm

サイズ呼称	E	
	Rタイプ	Fタイプ
18	417	426
21	719	732

4 波板サイドパネルの施工方法

1. 各部名称



2. サイドパネル（背面）の取付け

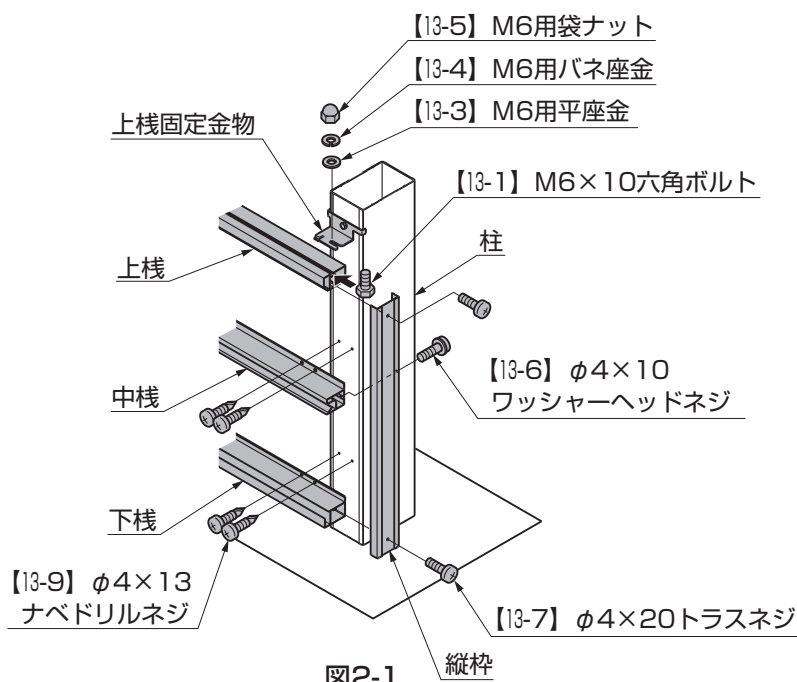


図2-1

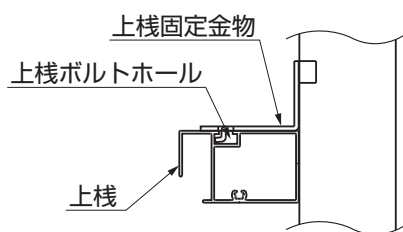


図2-2

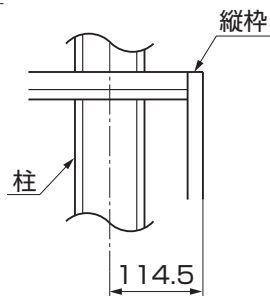


図2-3 サイドパネル位置

- ① 上栈のボルトホールに【13-1】を差込み、中栈、下栈、縦枠を【13-6】、【13-7】で組立ててください。（図2-1参照）
- ② 上栈のボルトホールに差込んだ【13-1】を、上栈固定金物に引っ掛けて【13-3】、【13-4】、【13-5】で取付けてください。（図2-1、図2-2参照）
- ③ サイドパネルの左右位置を合わせ、中栈と下栈を柱に【13-9】で取付けてください。（図2-1、図2-3参照）

ポイント

- 上栈固定金物の位置はブラケット固定ボルトの上側でも取付けできます。
- 29サイズ（単体）施工時は、サイドパネルの栈と方立の組付け部が補助柱と重なるので、一度サイドパネルをずらして組付けてください。組付け後パネル位置を調整してください。

3. サイドパネル（側面）の組立て

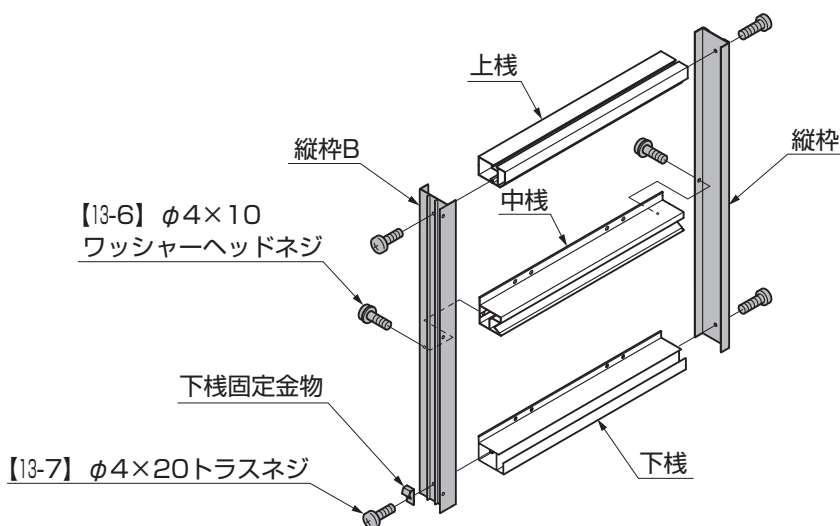
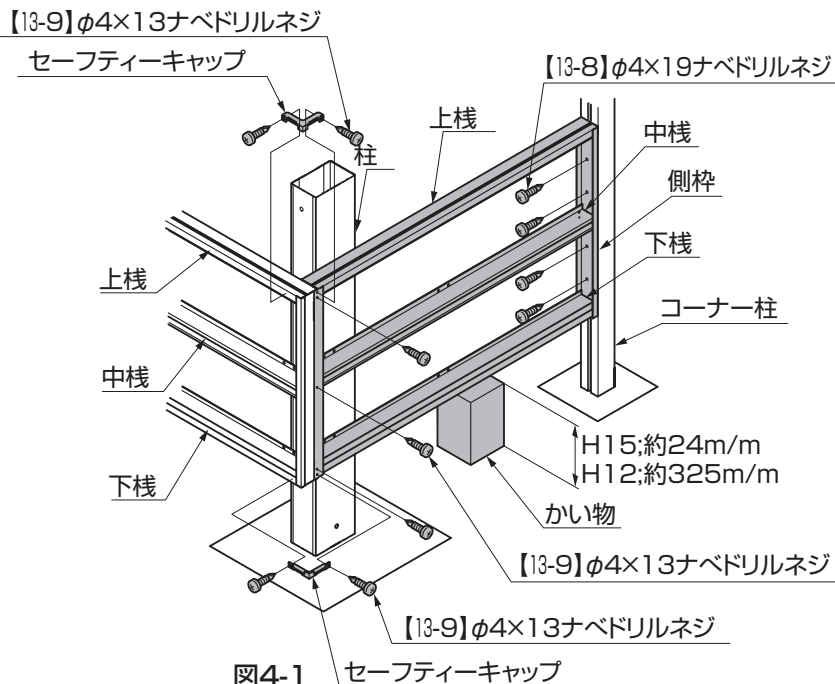


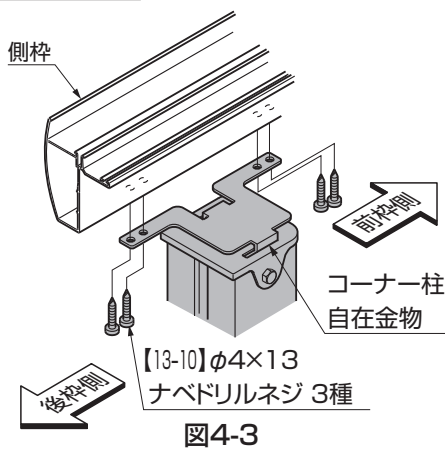
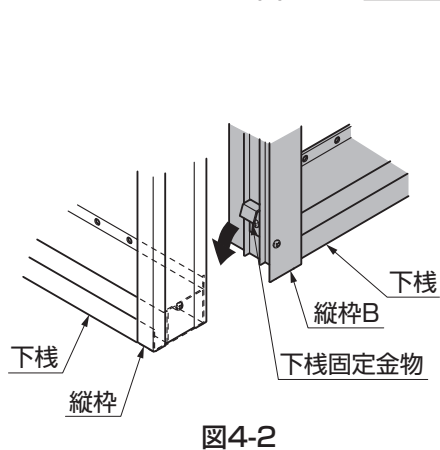
図3-1

- ① 上栈、中栈、下栈、縦枠、縦枠B、下栈固定金物を【13-6】、【13-7】で組立ててください。（図3-1参照）

4. サイドパネル（側面）の取付け



- ①組んだサイドパネルを背面サイドパネルの下枠に引っ掛け、下にかい物をして背面サイドパネルに【13-9】で取付けてください。（図4-1、図4-2参照）
- ②コーナー柱の位置を出し、コーナー柱自在金物を側枠に【13-10】で取付けてください。（図4-3参照）
- ③側面サイドパネルの水平を出して、コーナー柱に【13-8】で取付けてください。
- ④セーフティーキャップをサイドパネルのコーナー部、上下に【13-9】で取付けてください。



5. 波板の取付け

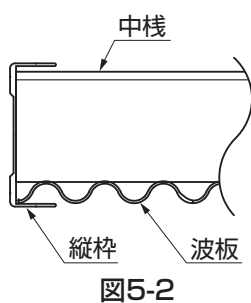
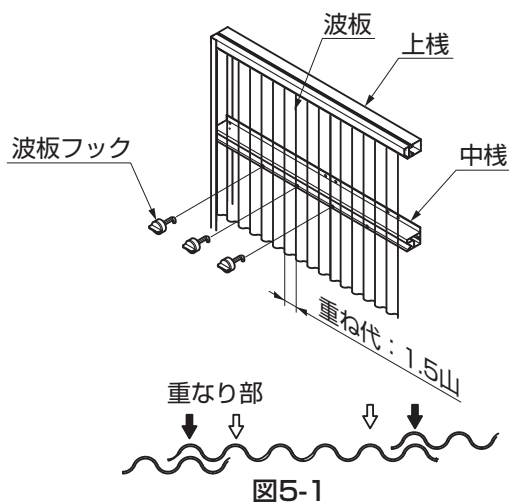


表5-1 波板の枚数

呼称	枚数
側面	3
22	4
29	5

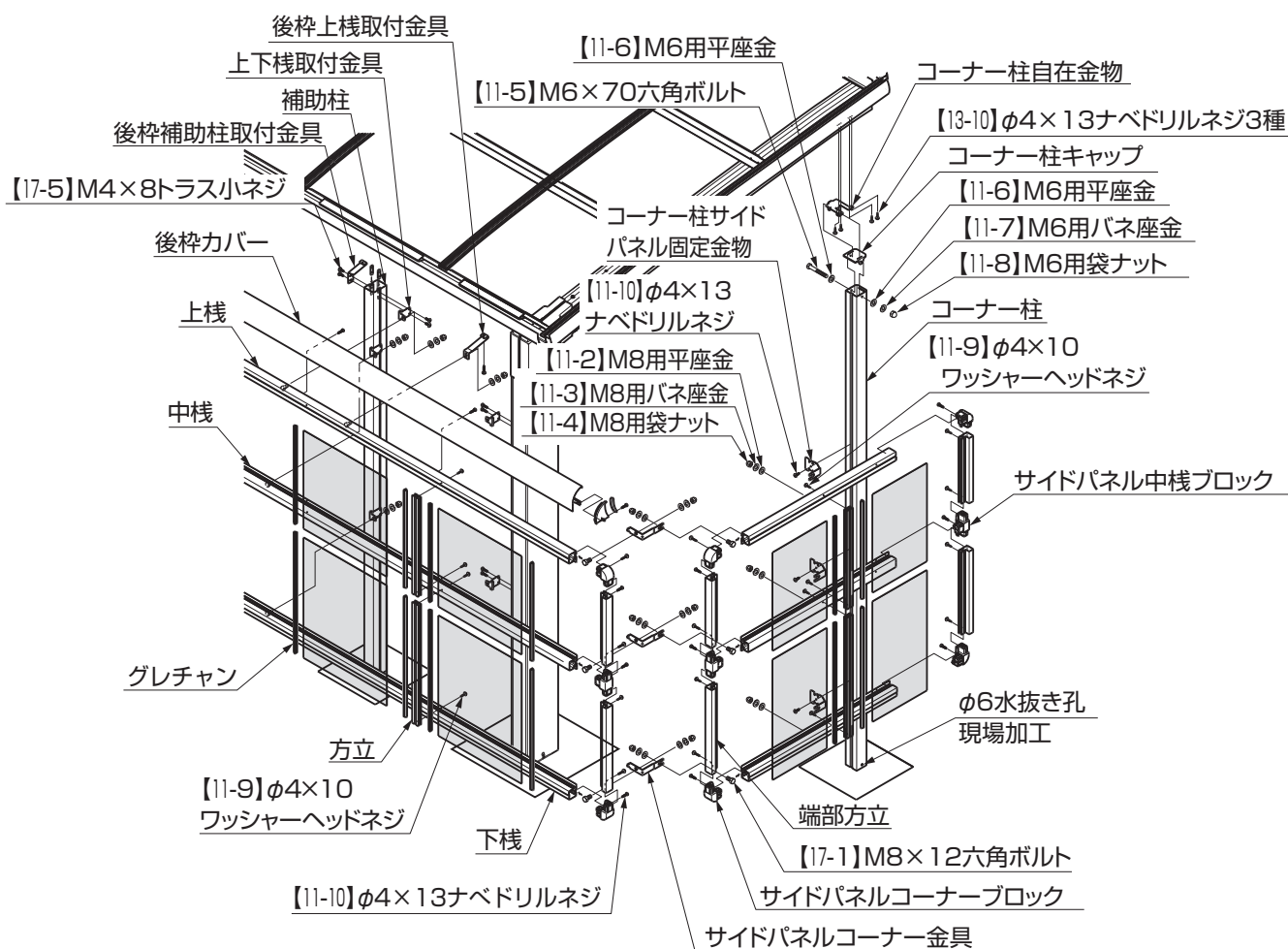
- ①それぞれのサイドパネルに波板をセットし、波板フックで取付けてください。

ポイント

- 母屋に沿って波板の重なり部および、中央の4カ所に穴をあけて、波板フックで止めてください。
- 波板を縦枠にのみ込ませてください。（図5-2参照）

5 サイドパネルの施工方法

1. 各部名称



2. 補助柱の組立て

2-1 取付金具の取付け

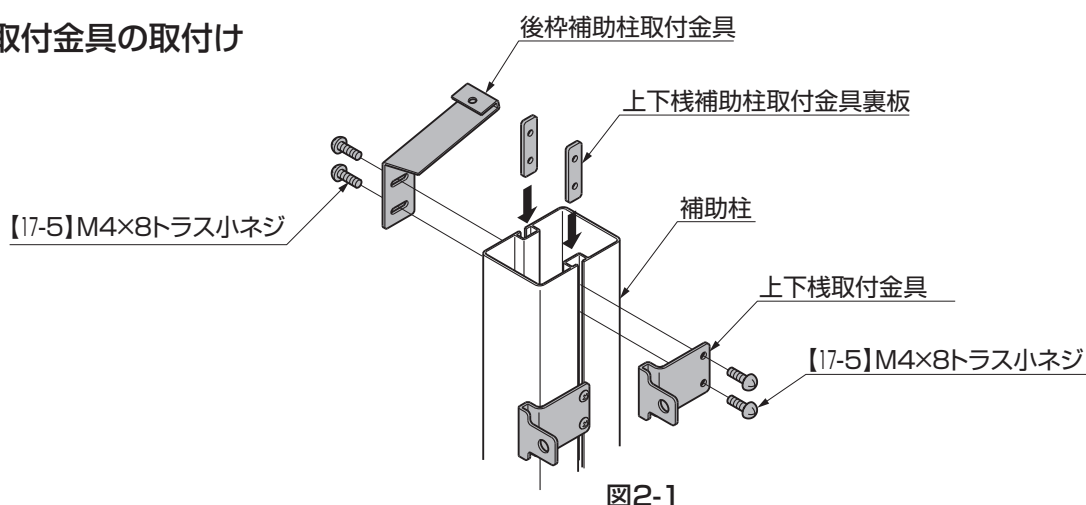


図2-1

- ①「補助柱」に、「上下棧取付金具」と「上下棧補助柱取付金具裏板」を、上棧・中棧・下棧の本数分【17-5】で仮止めしてください。(図2-1参照)
- ②「後枠補助柱取付金具」と「上下棧補助柱取付金具裏板」を【17-5】で仮止めしてください。(図2-1参照)

2. (つづき)

2-2 後枠の取付け

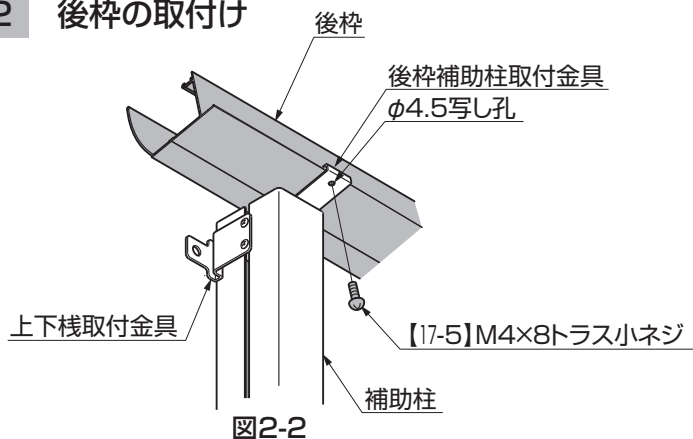


図2-2

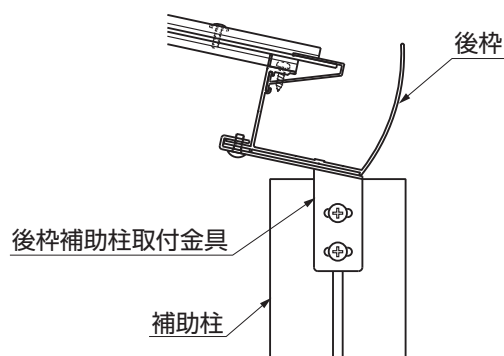


図2-3

- ①後枠補助柱取付金具の孔をガイドにして、後枠にφ4.5の写し孔をあけ【17-5】で取付けてください。
(図2-2、図2-3参照)

3. 後枠カバー・上棧の組立て

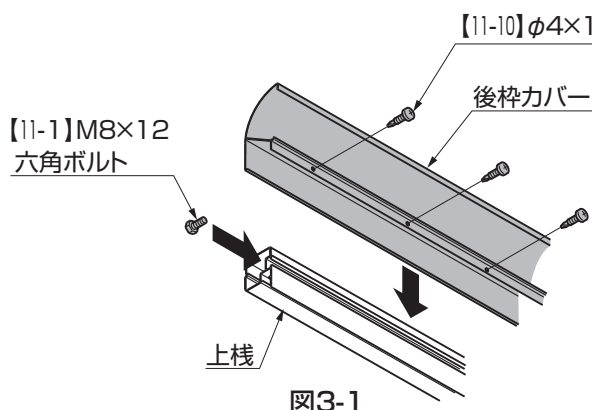


図3-1

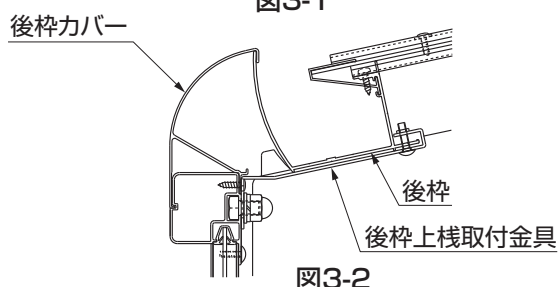


図3-2

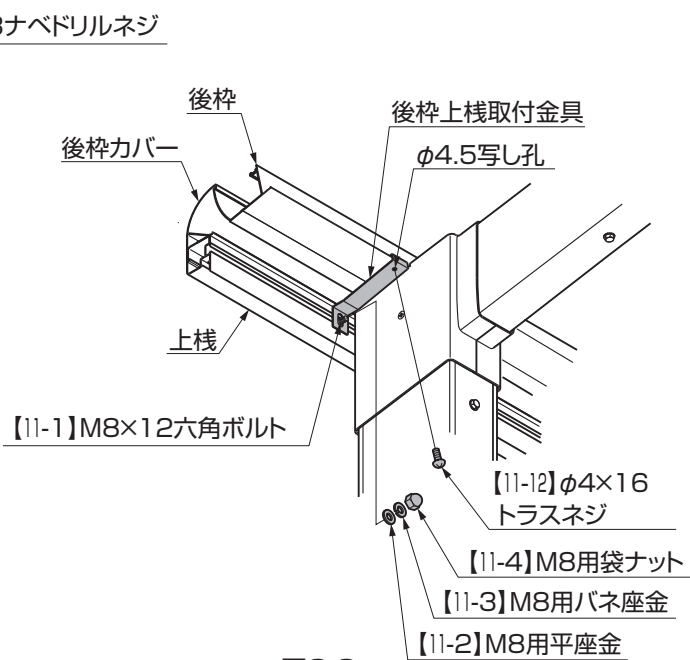


図3-3

- ①上棧に後枠カバーを組み【11-10】で取付けてください。(図3-1参照)
②上棧に、柱・補助柱の本数だけ、【11-1】を差込んでください。(図3-1参照)

ポイント

- 側面にもサイドパネルを付ける場合は【11-1】を1本づつ追加で挿入してください。

- ③後枠に後枠カバーを引っ掛け、後枠上棧取付金具を【11-1】を【11-2】、【11-3】、【11-4】で固定してください。
(図3-2、図3-3参照)

ポイント

- 後枠上棧取付金具は、なるべく柱の近くに取付けてください。

- ④後枠上棧取付金具の孔をガイドにして、後枠にφ4.5写し孔をあけて【11-12】で取付けてください。(図3-2参照)

4. 中棧・下棧・パネル・方立・端部方立の組立て

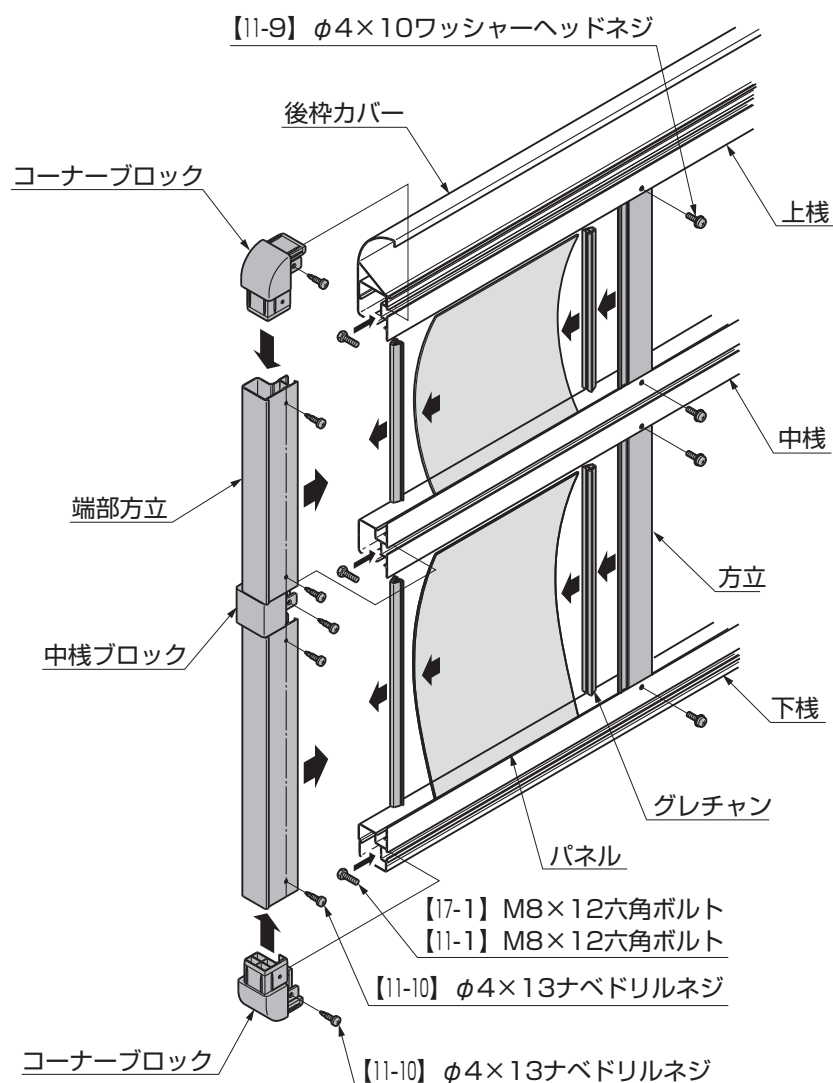


図4-1

- ①中棧・下棧に「3. 後枠カバー・上棧の組立て」で上棧に差込んだ【11-1】と同数の【11-1】または【17-1】を差込んでください。
- ②端部方立に、コーナーブロック・中棧ブロックを【11-10】で取付けてください。
- ③コーナーブロックおよび中棧ブロックを上棧・中棧・下棧に差込み【11-10】で固定してください。
- ④端部方立にグレチャンを差込んでください。
- ⑤パネルをわん曲させながらはめ込んでください。
- ⑥方立にグレチャンを差込み、スライドさせてパネルにはめ込み【11-9】で取付けてください。

ポイント

- 反対側の端部方立は仮止めをし、パネルをはめ込んだ後に本締めをしてください。

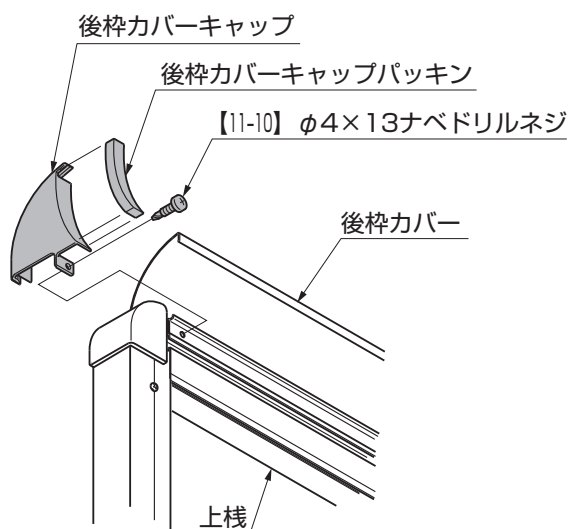


図4-2

- ⑦後枠カバーキャップに後枠カバーキャップパッキンを貼付け、後枠カバーに【11-10】で取付けてください。

5. 柱・補助柱の組立て

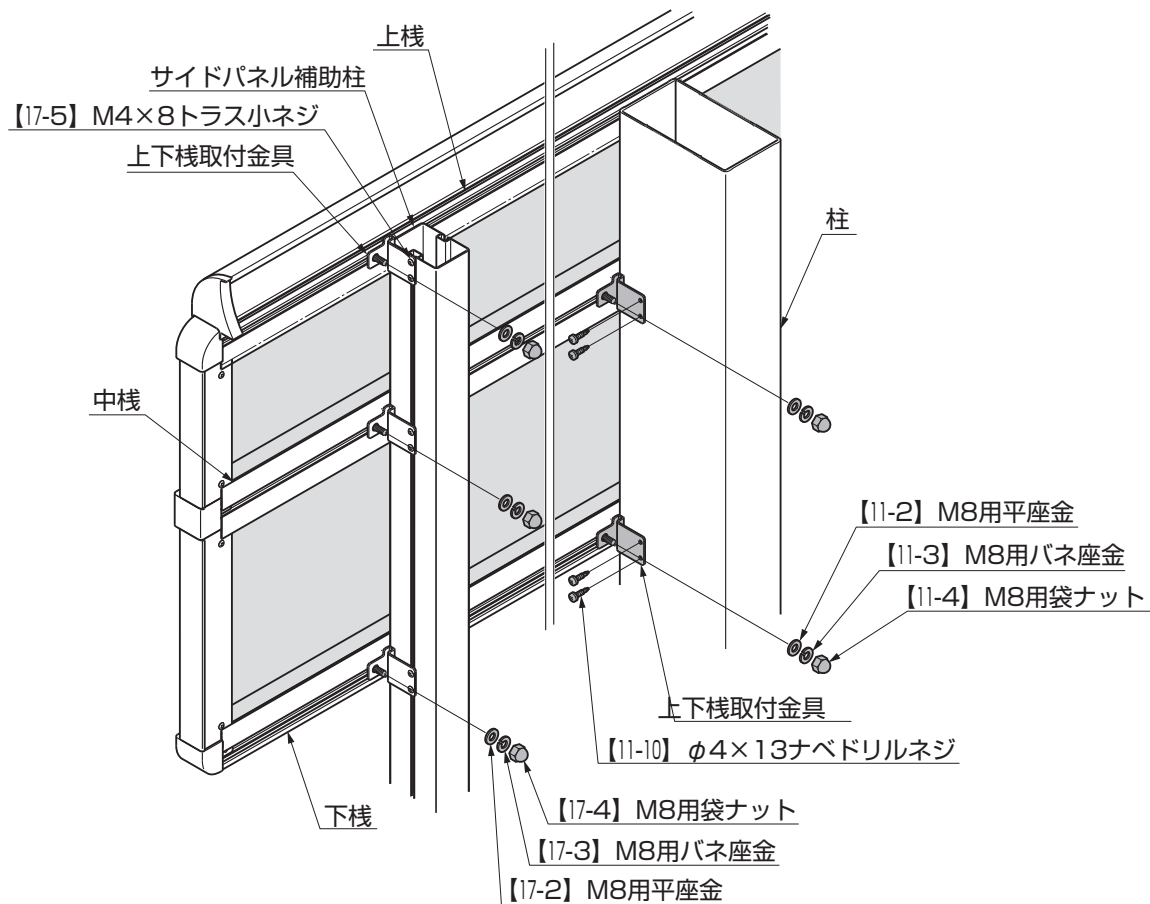


図5-1

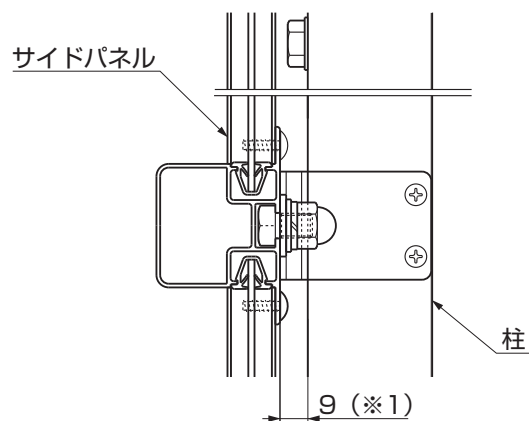


図5-2

- ①下棧・中棧に上下棧取付金具を【11-2】、【11-3】、【11-4】と【17-2】、【17-3】、【17-4】で仮止めしてください。
- ②柱に上下棧取付金具を【11-10】で取付けてください。
- ③サイドパネル補助柱に仮止めしてある上下棧取付金具の位置を合わせて【11-10】を本締めしてください。
- ④下棧・中棧と上下棧取付金具を仮止めしてある【11-2】、【11-3】、【11-4】と【17-2】、【17-3】、【17-4】を本締めしてください。

補足

- 柱とサイドパネルの間は9mm開きます。(※1)

6. コーナー金物・固定金物の組立て

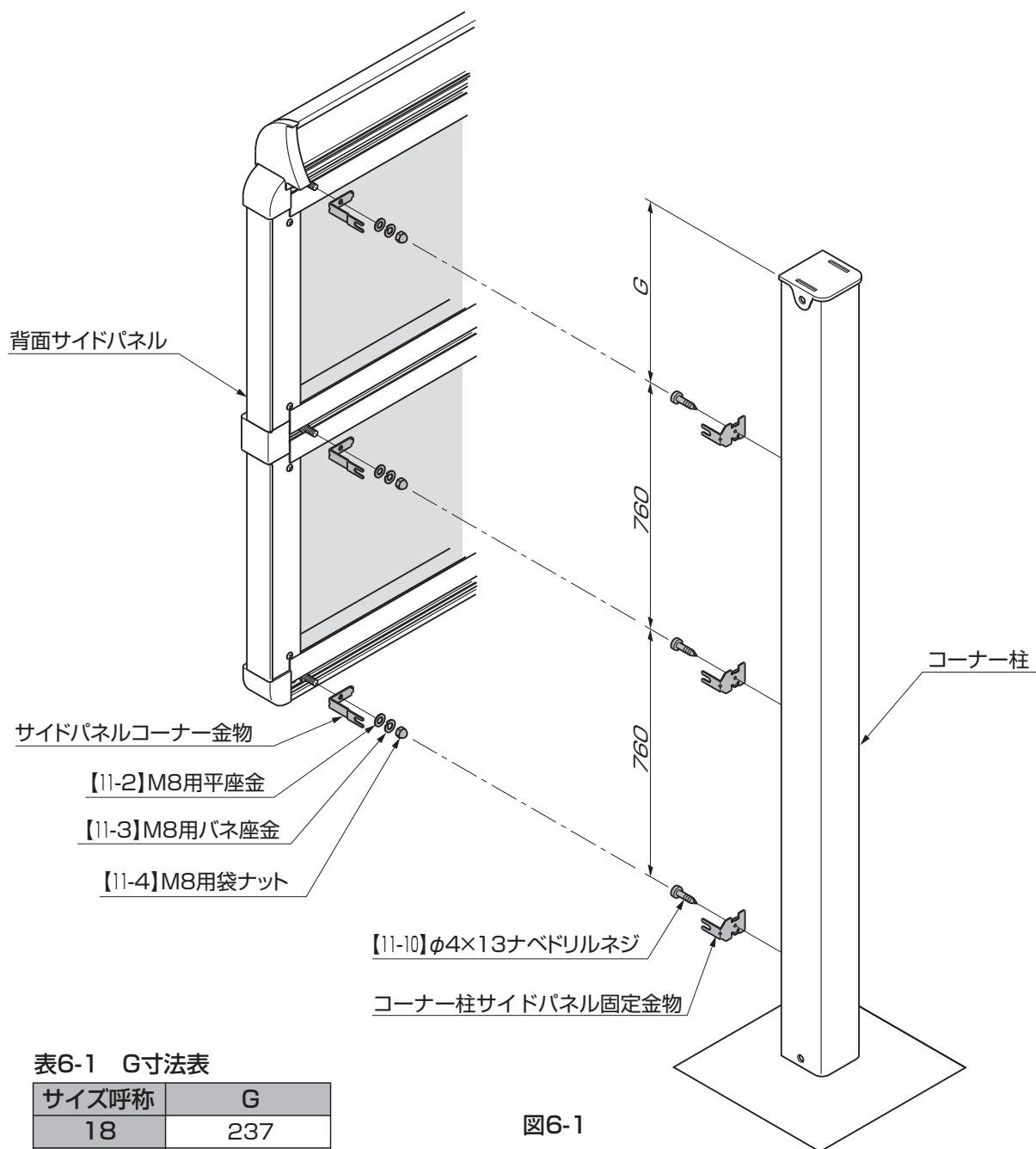


表6-1 G寸法表

サイズ呼称	G
18	237
21	264

図6-1

- ①背面サイドパネルにサイドパネルコーナー金物を【11-2】、【11-3】、【11-4】で取付けてください。
- ②コーナー柱にコーナー柱サイドパネル固定金物を【11-10】で取付けてください。

ポイント

- コーナー柱の側枠への取付けは、「3 基本の施工 7. コーナー柱の取付け」を参照してください。

7. 側面パネルの組立て

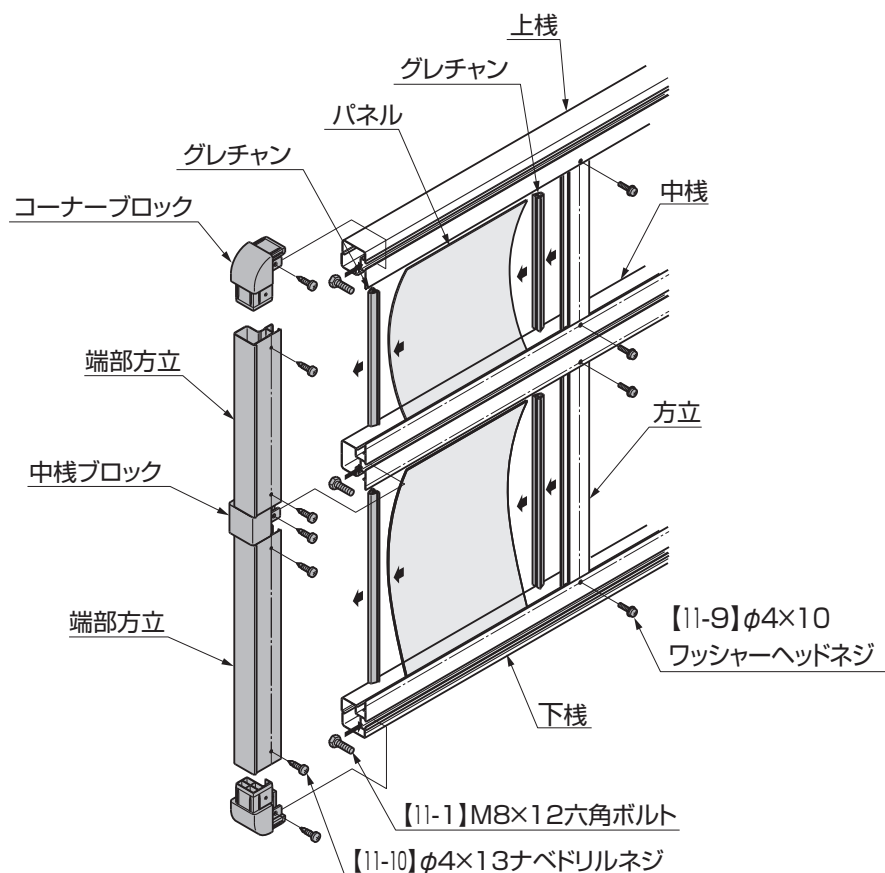


図7-1

- ① 中横・下横・上横に各2本ずつの【11-1】を差込んでください。
- ② 端部方立に、コーナーブロック・中横ブロックを【11-10】で取付けてください。
- ③ コーナーブロックおよび中横ブロックを上横・中横・下横に差込み【11-10】で固定してください。
- ④ 端部方立にグレチャンを差込んでください。
- ⑤ パネルをわん曲させながらはめ込んでください。
- ⑥ 方立にグレチャンを差込み、スライドさせてパネルにはめ込み【11-9】で取付けてください。

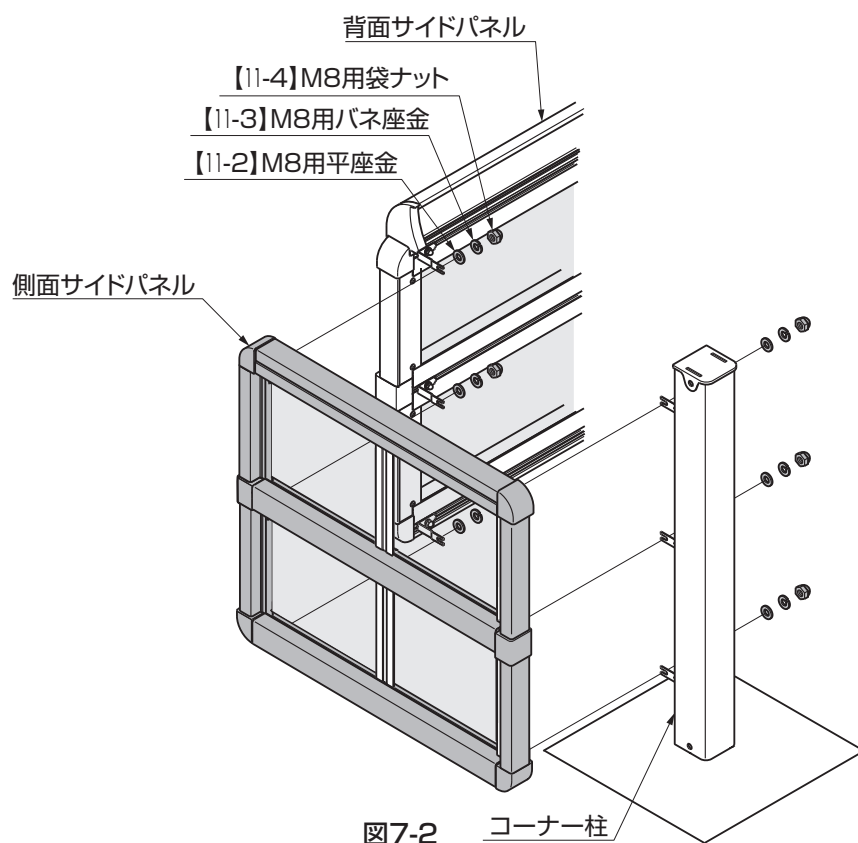


図7-2

- ⑦ 側面サイドパネルを背面サイドパネル、コーナー柱へ【11-2】、【11-3】、【11-4】で取付けてください。

6 連棟の場合の施工方法

1. 基礎の施工

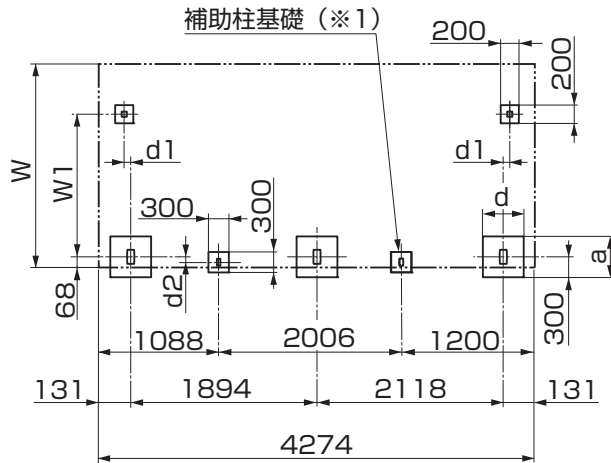


図1-1 22サイズ+22サイズ

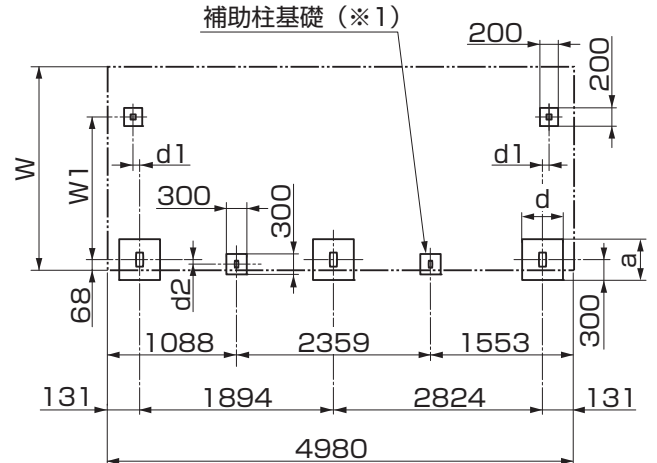


図1-2 22サイズ+29サイズ

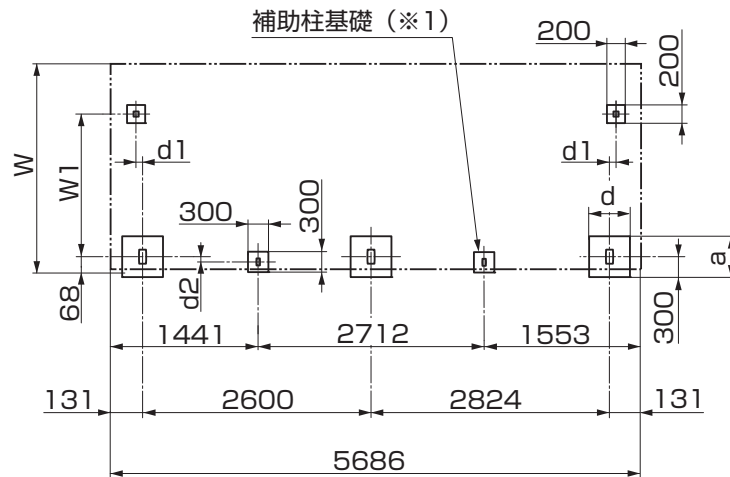


図1-3 29サイズ+29サイズ

表1-1 隅出し位置

単位mm

サイズ呼称		W	波板タイプ		パネルタイプ		
			W1	d1	W1	d1	d2
R	18	1801	1619	87	1251	67	31
	21	2101	1619	87	1251	67	31
F	18	1800	1619	87	1251	67	31
	21	2103	1619	87	1251	67	31

表1-2 基礎孔寸法表

サイズ呼称	a		d	
	土間なし	土間コンクリート	土間なし	土間コンクリート
18・21	600	400	600	300

①柱の埋込み位置を出して、基礎孔を掘ってください。

ポイント

- 図の二点鎖線は屋根の投影図を示します。
- 柱移動は端部柱は不可（雨樋アタッチメントに干渉します）、連棟柱は±95mm以内です。
- 基礎構造については「3 基本の施工方法 1. 基礎の施工」を参照してください。
- 補助柱基礎はパネルタイプの場合のみです。（※1）
- コーナー柱、サイドパネル補助柱の基礎固めは必ず最後に行なってください。

3. 波板サイドパネル連棟時の組立て ※波板サイドパネル仕様で連棟を施工する場合の作業です。

3-1 連棟部の加工

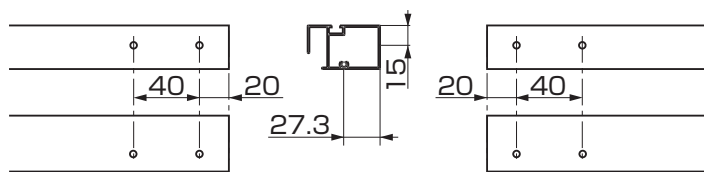


図3-1 上棧

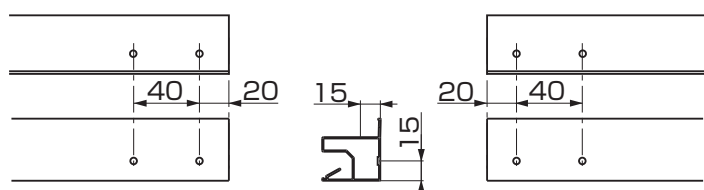


図3-2 中棧

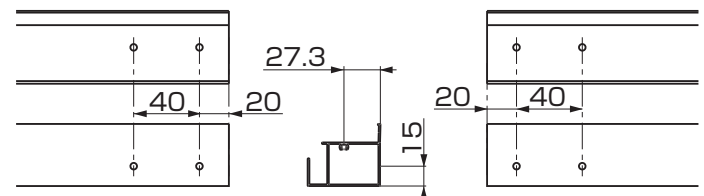


図3-3 下棧

①上棧・下棧・中棧に、孔加工をしてください。（図3-1、図3-2、図3-3参照）

3-2 連棟部の連結

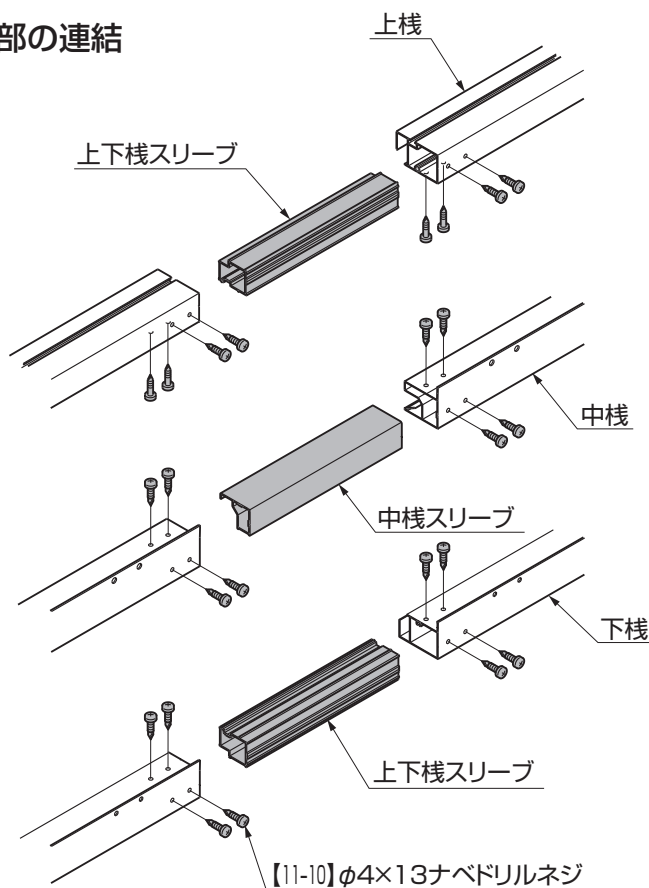
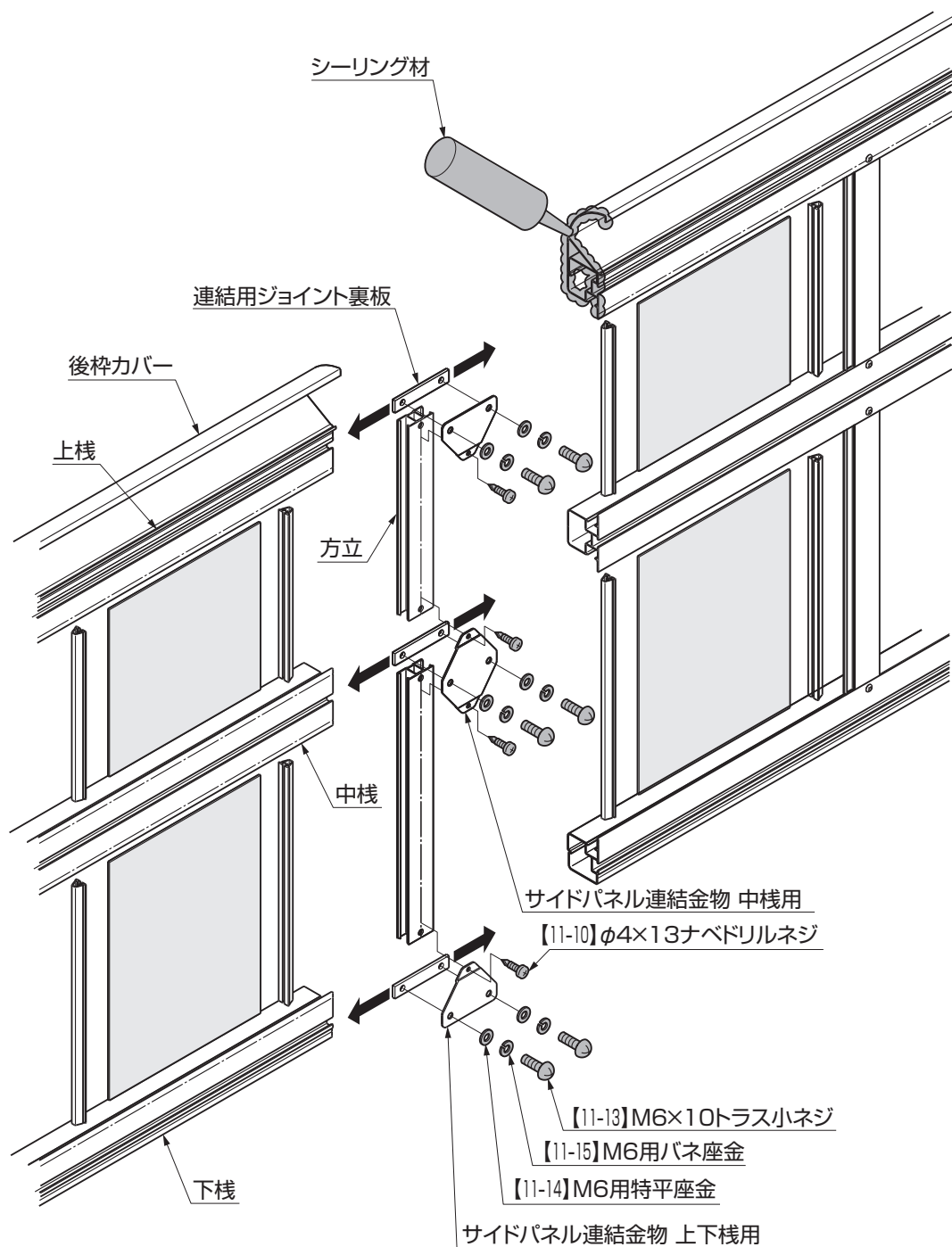


図3-4

①上棧・中棧・下棧にそれぞれ上棧スリーブ、中棧スリーブ、下棧スリーブを【11-10】で取付けて連結してください。

4. サイドパネル連棟時の組立て

※サイドパネル仕様で連棟する場合の作業です。



- ①上下棧・中棧同士を、連棟用ジョイント裏板、サイドパネル連結金物と【11-14】、【11-15】、【11-13】で固定してください。
- ②サイドパネル連結金物の孔と方立の中心を合わせて【11-10】で取付けてください。
- ③後枠カバーと上棧の連棟部にシーリング材を充て込んでください。

ポイント

- 方立の既存加工孔は使用しないでください。

7 縦樋の取付け

1. 縦樋の取付け

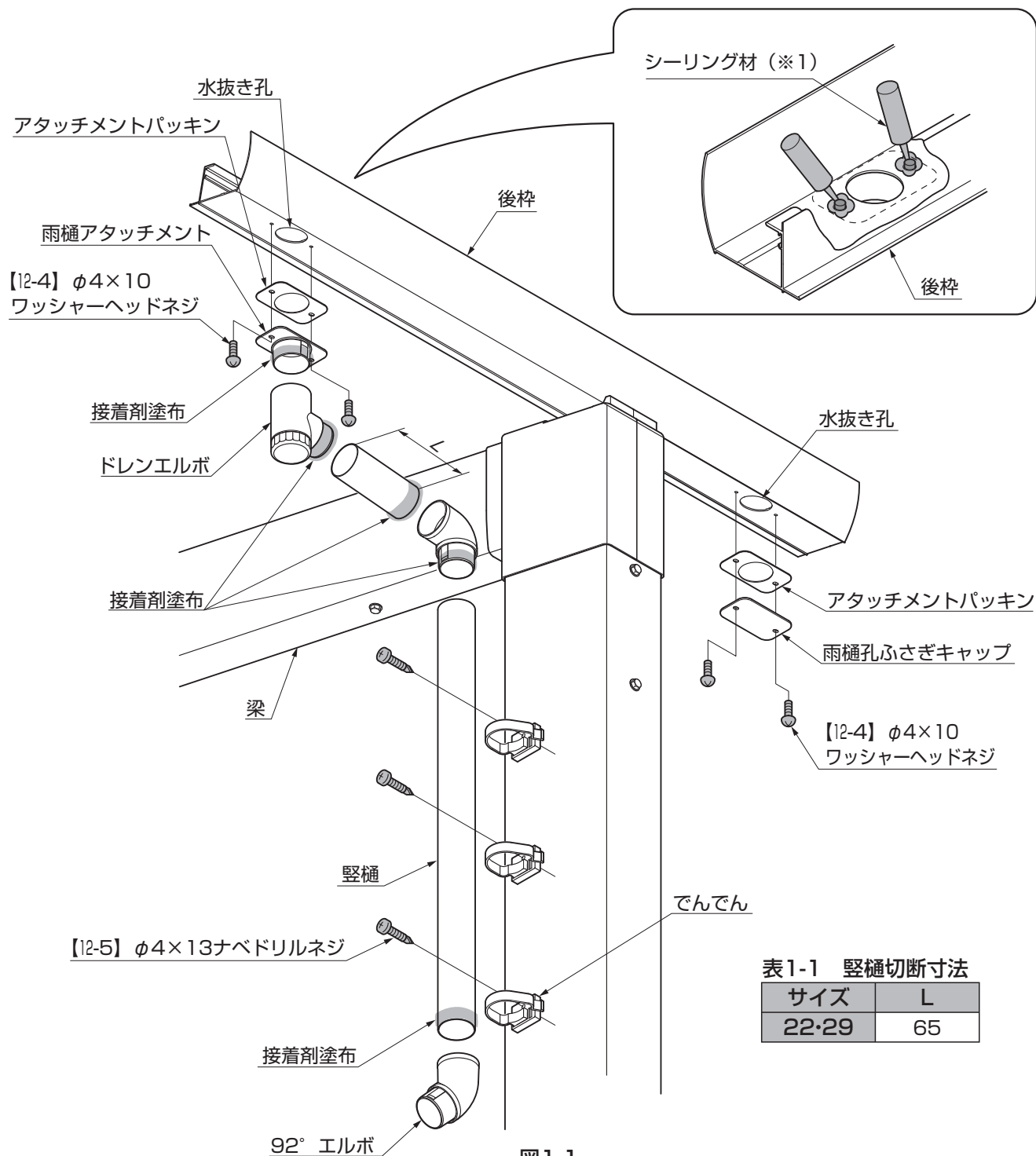


表1-1 縦樋切断寸法

サイズ	L
22・29	65

- ① 縦樋を切断してください。(図1-1 参照)
- ② 後枠両端の片方の水抜き孔にアタッチメントパッキン、雨樋アタッチメント、ドレンエルボ、縦樋、92° エルボ、でんでんを接着剤と【12-4】、【12-5】で取付けてください。
- ③ もう一方の水抜き孔に、アタッチメントパッキン、雨樋孔ふさぎキャップを【12-4】で取付けてください。
- ④ ネジ部にシーリング材を充てんしてください。(※1)

